

英語構文・英作文

英語構文・英作文

●ねらい

本書は英語構文編と英作文編で構成されています。英語構文編で重要構文を習得し、英作文の下地を作り、英作文編で入試レベルの英作文が書けるようになることを目的としています。

英語構文編は、英語の重要構文を効率よく習得できるよう編集しています。構文の知識は大学入試の英語でも大きなウェイトを占め、英語の文章を読むうえでも、英語を書くうえでも不可欠なものです。重要な構文を効率よく習得するために、関連のある構文ごとに、一度に扱う項目を絞り、問題を通して特定の構文を繰り返し確認させることで、運用力が確実に身につくようにしました。本書を学習することにより重要な構文のほぼすべてが習得できるはずです。

英作文編は、自分の言いたいことを英語で書き表す能力の養成に的を絞っています。英作文は大きく分けて「和文英訳」と「自由英作文」の2つに分けられますが、どちらも整序作文の練習をしているだけでは十分に対処できません。使う単語を自分で考え、どんな構文・表現で表すのが適しているかを自分で判断して英語に直す練習が必要です。

PART Iでは、主要文法別・表現別に和文英訳の練習をします。英作文の基本は正確な文法力です。ここで文法学習の復習をかねて英作文の基礎力を養成します。

PART IIでは、国公立大入試レベルの英作文問題に対処できる学力の養成を目指します。与えられた日本語をやさしく言いかえてから英訳する練習を通して、減点されない答案づくりのコツを身につけます。高校生が無理なく書けるレベルの英文を、文法的なミスなく書けるようになるのが目標です。

●構成

英語構文編

1. 全体は34のLessonから成り、各Lessonは「要点整理」と「練習問題」の2ページで構成されています。シンプルな構成で学習がスムーズに進みます。
2. 各Lessonではいくつかの構文に焦点を当て、さまざまな問題形式を通してその構文に習熟できるようになっています。
3. 各Lessonの構成

要点整理

重要構文ごとに文例と訳し方を提示。構文ごとにポイント、注意点などを簡潔に説明

練習問題

和訳問題、適語補充問題、整序英作文、その他さまざまな問題を通して、構文の確認から入試に対応する運用力までを養成。

英作文編

1. 全体はPART I とPART II に大きく分かれています。PART I は20のLessonから成り、主要文法別・表現別に標準的な英作文の学習をします。PART II は「発展英作文」と「条件英作文」に分かれ、国公立レベルの、より長い日本語の英訳を練習します。
2. PART I の構成

暗記例文

重要な表現を含む例文を提示。英訳の観点から例文を解説。

練習問題

各Lessonの内容に関する和文英訳問題で、1は部分英訳、2は全文英訳、3 **Challenge** はやや長い日本語の英訳、という問題構成。

3. PART II の構成

- ・発展英作文

問題

 →

解説

 →

類題

 のセットで構成。問題は大学入試から精選。
- ・条件英作文

問題

 →

考え方

 のセットで構成。

英語構文編

Lesson 1	it の作る構文(1)	8
	It is ... (for A) to ~ . / It takes[costs] + 人 + 時間[費用] + to ~ . / 他	
Lesson 2	it の作る構文(2)	10
	It is + 形容詞[名詞] + that / It + V(~) + that / 他	
Lesson 3	it の作る構文(3)	12
	It seems that / S find[think] it + C + that / 他	
Lesson 4	助動詞の構文(1)	14
	cannot have + 過去分詞 / may[might] have + 過去分詞 / 他	
Lesson 5	助動詞の構文(2)	16
	cannot ~ too ... / cannot help ~ ing[cannot but + 動詞の原形] / 他	
Lesson 6	不定詞の構文(1)	18
	how to ~ [what to ~] / tell[ask] + O + to ~ / 他	
Lesson 7	不定詞の構文(2)	20
	too ... (for A) to ~ / ... enough (for A) to ~ / so ... as to ~ / 他	
Lesson 8	不定詞の構文(3)	22
	S seem to ~ . / S be said to ~ . / <be to ~>の構文	
Lesson 9	不定詞の構文(4) — 知覚動詞	24
	see[hear] + O + 原形不定詞 / S be seen[heard] to ~ .	
Lesson 10	不定詞の構文(5) — 使役動詞	26
	make + O + 原形不定詞 / have + O + 原形不定詞 / let + O + 原形不定詞 / 他	
Lesson 11	動名詞の構文(1)	28
	There is no ~ ing. / be[get, become] used[accustomed] to ~ ing / 他	
Lesson 12	動名詞の構文(2)	30
	Would[Do] you mind ~ing ? / It goes without saying that / 他	
Lesson 13	分詞の構文(1)	32
	S + V + C(現在分詞・過去分詞)の構文 / have[get] + O + 過去分詞 / 他	
Lesson 14	分詞の構文(2)	34
	時を表す分詞構文 / 理由を表す分詞構文 / 条件を表す分詞構文 / 他	
Lesson 15	比較の構文(1)	36
	比較級 + than any other + 単数名詞 / 否定主語 + V + so[as] ~ as / 他	
Lesson 16	比較の構文(2)	38
	X times as ~ as ... / as ~ as possible / not so much A as B / 他	

Lesson 17	比較の構文(3).....	40
	prefer A to B / the + 比較級 + S + V, the + 比較級 + S' + V' / 他	
Lesson 18	関係詞の構文(1).....	42
	主格の関係代名詞 / 目的格の関係代名詞 / 所有格の関係代名詞 / what S + V / 他	
Lesson 19	関係詞の構文(2).....	44
	〈前置詞 + whom[which]〉の構文 / 非制限用法の構文 / such ~ as ... / 他	
Lesson 20	関係詞の構文(3).....	46
	関係副詞 when, where, why, how / This[That] is why ~ . / 他	
Lesson 21	関係詞の構文(4).....	48
	関係副詞 when, where の非制限用法 / whoever, whatever, whichever / 他	
Lesson 22	仮定法の構文(1).....	50
	仮定法過去 / 仮定法過去完了 / Were S ~ / Had S + 過去分詞 ~	
Lesson 23	仮定法の構文(2).....	52
	I wish S + 過去形 ~ . / as if[though] S + 過去形 / If S were to ~ / 他	
Lesson 24	名詞節の構文.....	54
	The fact is that / 疑問詞節 / if[whether] ... / 他	
Lesson 25	副詞節の構文(1)―時①.....	56
	It is[has been] ~ years since / It will not be long before / 他	
Lesson 26	副詞節の構文(2)―時②.....	58
	Hardly[Scarcely] had S + 過去分詞 ~ when[before].... / every time S + V / 他	
Lesson 27	副詞節の構文(3)―目的.....	60
	so that S + may[can, will] ~ / in order that S may ~ / 他	
Lesson 28	副詞節の構文(4)―程度・結果.....	62
	so + 形容詞[副詞] + that ... / such a[an] + 形容詞 + 名詞 + that ... / 他	
Lesson 29	副詞節の構文(5)―譲歩.....	64
	whatever[no matter what] S may ~ / 形容詞[副詞・名詞] + as S + V / 他	
Lesson 30	副詞節の構文(6)―条件.....	66
	unless S + V / as[so] long as S + V / as[so] far as S + V / 命令文 + and[or]....	
Lesson 31	名詞構文・無生物主語の構文.....	68
	名詞構文 / 無生物主語の構文	
Lesson 32	否定の構文(1).....	70
	部分否定(not always[necessarily] ~ / not ~ all) / neither of ~ / 他	
Lesson 33	否定の構文(2).....	72
	never[cannot] ... without ~ ing / nothing but ~ / the last ... to ~ / 他	
Lesson 34	強調・倒置・省略・その他の構文.....	74
	It is ~ that の強調構文 / 否定の副詞(句) + V + S / 他	

英作文編

1 PART I

Lesson 1	主語の決定	76
	一般人称の we, you / 非人称の it / 無生物主語 / 否定主語	
Lesson 2	時制の決定	78
	基本時制(現在・過去・未来) / 現在完了・過去完了・未来完了	
Lesson 3	文型(1)	80
	S + V / S + V + C / S + V + O	
Lesson 4	文型(2)	82
	S + V + O + O / S + V + O + C	
Lesson 5	受け身	84
	be 動詞 + 過去分詞 / 受け身の未来形・進行形・完了形 / get + 過去分詞 / have[get] + O + 過去分詞	
Lesson 6	知覚・使役	86
	see[hear] + O + 原形不定詞[現在分詞・過去分詞] / make[have, let] + O + 原形不定詞 / have[get] + O + 過去分詞 / make oneself understood[heard]	
Lesson 7	比較(1)	88
	原級・比較級・最上級の基本表現 / X times as ~ as ... / as ~ as possible[one can] / 比較級 + than any other ...	
Lesson 8	比較(2)	90
	否定主語の比較表現 / the + 比較級..., the + 比較級~ / all the + 比較級 + for[because] ... / 比較級 + and + 比較級	
Lesson 9	形容詞句・関係詞節(1)	92
	名詞 + 前置詞句[不定詞句/分詞句/形容詞句] / 関係代名詞〈主格・目的格〉	
Lesson 10	関係詞節(2)	94
	関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞	

Lesson 11	名詞句	96
	名詞的用法の不定詞 / 動名詞 / 疑問詞 + to 不定詞	
Lesson 12	名詞節	98
	S + V(+ O) + that ... / S + be 動詞 + that ... / It ~ that ... / 名詞 + that ... / 疑問詞節 / if[whether] 節 / 関係代名詞 what	
Lesson 13	副詞句・節(1)	100
	副詞的用法の不定詞 / in order to ~ / so as to ~ / in order that S may ~ / so that S may[can/will] ~ / in case S (should) ~	
Lesson 14	副詞句・節(2)	102
	原因・理由を表す場合 / 程度・結果を表す場合	
Lesson 15	副詞句・節(3)	104
	条件を表す場合 / 事実と反する仮定を表す場合	
Lesson 16	副詞句・節(4)	106
	「…だけれども」の言い方 / 「～にもかかわらず」の言い方 / 「たとえ…でも」の言い方 / 「何を[どんなに]…しようとも」の言い方	
Lesson 17	希望：義務・必要の表現	108
	希望の表現 / 義務・必要の表現	
Lesson 18	推量・可能性：依頼・要求の表現	110
	推量・可能性の表現 / 依頼・要求の表現	
Lesson 19	勧誘・提案：許可・禁止の表現	112
	勧誘・提案の表現 / 許可・禁止の表現	
Lesson 20	否定の表現	114
	主語が否定語の場合 / 目的語が否定語の場合 / 部分否定	

2

PART II

1	発展英作文	116
2	条件英作文	132

Lesson

1

it の作る構文(1)

★ 要点整理 ★

- ① **It is ... (for A) to ~ . : (A が [A にとって]) ~ することは...である。**
It is interesting for me to read books about history.
 (歴史の本を読むことは私には興味深い)
 ◎ It は to ~ を指す形式主語。for A は不定詞の意味上の主語。
- ② **It is ... of A to ~ . : ~ するとは A は...である。**
It's very kind of you to carry my belongings.
 (私の荷物を持ってくださるなんて、あなたはとても親切ですね)
 ◎ It is のあとが A の人物批評をする形容詞 (kind, nice, wise, foolish, careless など) のとき、不定詞の意味上の主語を of A で表す。〈A is 形容詞〉という関係がある。
- ③ **It takes + 人 + 時間 + to ~ . : (人) が ~ するのに (時間) がかかる。**
It costs + 人 + 費用 + to ~ . : (人) が ~ するのに (費用) がかかる。
It will take you fifteen minutes to walk to the station.
 (駅まで歩いて行くのに15分かかるでしょう)
 ◎ 「人」を表す目的語を含まない場合もある。
- ④ **S find[think] it C to ~ . : ~ することは C だとわかる [思う]。**
I found it difficult to solve the math problem.
 (その数学の問題を解くのは難しいとわかった)
 ◎ it は to ~ を指す形式目的語。S find that it is C to ~ . と同意。

練習問題

1 次の英文を日本文に直しなさい。

- (1) It is desirable for us to cultivate the habit of reading while we are young.
-

- (2) It was wise of her not to participate in it.
-

- (3) It took Jack two full days to finish writing this paper.
-

- (4) My grandfather makes it a rule to take a walk every morning.
-

- (5) Though I was in a hurry, I thought it very careless of me to forget to lock the door.
-

2 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、()に適する語を書きなさい。

- (1) { You had better stay there.
It would () better () you to stay there.
- (2) { I paid 2,000 yen for the parcel to be sent by air.
It () () 2,000 yen to send the parcel by air.
- (3) { He carelessly left his umbrella on the train.
It was () () him to () his umbrella on the train.

3 次の対話が成り立つように、()内の語を並べかえなさい。

A: Do you know (Paris / to / to / it / costs / much / how / go) ?

B: I have no idea. Why don't you ask a travel agent ?

4 次の日本語に合う英文になるように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) その会社はもっと経済的な方法を確立する必要がある。

It (the company / economical / establish / for / is / methods / more / necessary / to).

- (2) お金が必要なときに仕事をやめるなんてメアリーは愚かだ。

It's (give / her / job / Mary / of / silly / to / up) when she needs the money.

- (3) この計画を実行するのはとても難しいとわかった。

I (hard / this plan / found / it / very / to / into / put) practice.

- (4) 我々3人とも行くのは無意味だ。

(us / three / it / to / for / is / of / pointless) go.

5 次の日本語を英文に直しなさい。

- (1) そんなことをするなんて、あなたも不注意でしたね。

- (2) そこへ行くにはバスで2時間かかります。

- (3) 彼らは計画を変更するのが不可能だとわかりました。

Lesson

5

助動詞の構文(2)

★ 要点整理 ★

- ① **cannot ~ too ...** : いくら~しても…すぎることはない
 I cannot thank you too much. (どんなにお礼を言っても足りない)
 ◎ too のあとには形容詞または副詞がくる。
- ② **cannot help ~ ing / cannot but + 動詞の原形** : ~せずにはいられない
 I couldn't help laughing at the sight.
 (私はその光景を見て笑わずにはいられなかった)
 ◎ この構文の help は「避ける」の意味。《米》では〈cannot help but + 原形〉も使われる。
- ③ **All S have to do is (to) ~ .** : S は~しさえすればよい。
 All you have to do is to listen to me. (君は私の言うことを聞きさえすればよい)
 ◎ 「あなたがしなければならないすべてのことは~することである」が直訳。類似構文に
 All S can do is (to) ~ . 「S にできることは~することだけである」がある。
- ④ **would rather ~ (than ...)** : (…するより)むしろ~したい
may well ~ : ~するのをもっともだ
may[might] as well ~ : ~してもよい
 I would rather stay home than go out. (出かけるよりむしろ家にいたい)
 She may well be angry with you. (彼女があなたに腹を立てるのをもっともだ)
 We might as well buy another bike. (自転車をもう1台買ってよい)
 ◎ 「~」と「…」の部分には動詞の原形がくる。

〔 練習問題 〕

1 次の英文を日本語に直しなさい。

- (1) You cannot be too careful when you pour dangerous chemicals from a bottle.

- (2) It doesn't matter whether you win or lose the race. All you have to do is try your best.

- (3) The cake was so delicious that I couldn't help eating all of it.

- (4) I would rather go to the seaside this summer. I've had enough of the mountains.

- (5) It is useless to talk to him. You might as well talk to a brick wall.

2 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、()に適する語を書きなさい。

- (1) { We couldn't () laughing at his joke.
 { We couldn't () laugh at his joke.
- (2) { You only have to wash the dishes in the kitchen.
 { All you () to () () wash the dishes in the kitchen.
- (3) { It is only natural that she should be proud of her daughter.
 { She () () be proud of her daughter.

3 次の日本文に合うように、()に適する語を書きなさい。

- (1) あまり遠くないんだから、歩いて行ってもいいよ。
 It's not very far, so I () as well walk.
- (2) 音楽を聞くよりテレビを見たい。
 I () rather watch TV than () to music.
- (3) 私は彼の病気のことを聞いて、彼に同情しないわけにはいかなかった。
 I couldn't () feel () for him to hear about his disease.

4 次の日本文に合う英文になるように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 書類に書き込むだけで結構です。
 (is / have to / all / fill / you / do) out the form.

- (2) 彼女は彼の言葉を聞いて怒らずにはいられなかった。
 She could (getting / not / at / help / his / angry) words.

- (3) 彼らといっしょに組むくらいなら、辞職したほうがまだ。
 I (as / than / resign / rather / accept / would / them) partners.

- (4) 友情の大切さはいくら強調してもしすぎることはない。
 We cannot emphasize (too / of / importance / the / much) friendship.

- (5) 休暇を取るよりも仕事をしたいという友人がいます。
 I have a friend who (rather / go on holiday / than / would / go to work).

- (6) 山の中はとても静かで、聞こえるのは鳥の声だけだ。
 The mountain was so quiet; (all / be / can / heard / is / that) the sound of birds.

Lesson

10

不定詞の構文(5) — 使役動詞

★ 要点整理 ★

① **make** + O + 原形不定詞 : Oに～させる

have + O + 原形不定詞 : Oに～してもらう

let + O + 原形不定詞 : Oに～させてやる

The teacher **made** me **stand** up. (先生は私を立たせた)

She **had** a photographer **take** her pictures.

(彼女は写真家に彼女の写真を撮ってもらった)

Let me **introduce** myself. (私に自己紹介させてください)

☛ **make** は強制的に「～させる」(物が主語のときは非強制的), **let** は希望通り「～させる」を表す。

② **S be made to** ～ : Sは～させられる。

They **were made to** work from morning till night.

(彼らは朝から晩まで働かされた)

☛ 使役動詞 **make** の構文を受動態にすると, 原形不定詞が **to** 不定詞にかわる。

③ **get** + O + **to** 不定詞 : Oに～させる [してもらう]

I **got** Tom **to** repair my bike. (私は自転車をトムに修理してもらった)

☛ **get** で使役の意味を表す場合は **to** 不定詞を用いる。

練習問題

1 次の英文を日本語に直しなさい。

(1) This dress makes me look a little fat.

.....

(2) She never let her children have their own way.

.....

(3) I got my secretary to retype the report.

.....

(4) Mr. Johnson has his secretary arrange weekly business schedules.

.....

(5) Mother told me to watch the milk and not to let it boil over.

.....

(6) Emily was made to sign the contract against her will.

.....

2 次の英文の()に適する語句を選びなさい。

- (1) I can't get this machine () properly.
 ① work ② worked ③ be working ④ to work
- (2) His jokes always make us ().
 ① to laugh ② laughing ③ laughter ④ laugh
- (3) I'll have my son () the car tomorrow.
 ① washed ② wash ③ to wash ④ have washed
- (4) Please () us know how you are getting along.
 ① ask ② allow ③ let ④ have

3 次の対話が成り立つように、()内の語を並べかえなさい。

A: Did you translate the story all by yourself?

B: No, (my / I / me / do / for / it / got / friend / to).

4 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、()に適する語を書きなさい。

- (1) { Why did you tell me such a lie?
 () made () tell me such a lie?
- (2) { If you take this medicine, you will feel all right.
 This medicine will () you () all right.

5 次の日本語に合う英文になるように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) なぜこの大学を選んだのですか。

What (you / this / choose / university / made) ?

- (2) おまえを一人で旅行させるわけにはいかないよ。

I can't (you / let / a trip / go / on) alone.

- (3) 母親は子供たちに部屋の掃除をさせた。

The mother (room / her children / their / clean up / made).

- (4) ボブは作文の書き直しをさせられました。

Bob (write / to / made / the composition / was) over.

- (5) 彼に宿題を手伝ってもらったのですか。

Did you (have / help / with / him / you) your homework?

Lesson

15

比較の構文(1)

★ 要点整理 ★

- ① 比較級 + **than any other** + 単数名詞 : ほかのどの…よりも～

Lake Biwa is **larger than any other** lake in Japan.

(琵琶湖は日本のほかのどの湖よりも大きい)

- ◎ 最上級と同じ内容を表す。類似構文に〈比較級 + **than anything[anyone] else**〉= 「ほかの何[だれ]よりも～」がある。

- ② 否定主語 + V + **so[as]** ~ **as ...** : …ほど～なものはない。

否定主語 + V + 比較級 + **than ...** : …よりも～なものはない。

Nothing is so precious as health. (健康ほど大切なものはない)

No other boy in my class can run **faster than** Bob.

(ボブよりも速く走れる少年は私のクラスにはほかにいない)

- ◎ 最上級と同じ内容を表す。Nothing, 〈No other + 単数名詞〉などが主語になる。

- ③ **the** + 最上級 + 名詞 + (**that**) **S have ever** + 過去分詞

: S が今までに…した最も～な(名詞)

This is **the tallest** tree (**that**) I **have ever** seen.

(= I have never seen such a tall tree as this.)

(= I have never seen a taller tree than this.)

(これは私が今までに見た最も高い木です)

- ◎ 〈such a + 形容詞 + 名詞 + as ...〉は〈so[as] + 形容詞 + a + 名詞 + as ...〉の形になることもある。

練習問題

1 次の英文を日本文に直しなさい。

- (1) She practices more than any other member of our team.

.....

- (2) Nothing is more irritating than a telephone call after you have fallen asleep.

.....

- (3) Probably in all our history, no writer has been more admired than Shakespeare.

.....

- (4) The movie was very boring. I think it was the worst movie I have ever seen.

.....

- (5) Because of his fairness, Judge Smith is more highly respected than any other judge.

.....

2 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、()に適する語を書きなさい。

- (1) { Rio de Janeiro is the largest city in Brazil.
 Rio de Janeiro is () than () () city in Brazil.
- (2) { Time is the most important of all.
 Time is () important than () ().
 () is so important () time.
- (3) { Mt. Fuji is the most famous mountain in Japan.
 No other () in Japan is () famous than Mt. Fuji.

3 次の英文とほぼ同じ内容を表す文を、()内の指示に従って完成させなさい。

- (1) { This is the most interesting book I have ever read. (比較級を用いて)
 I have _____ this.
- (2) { I have never seen such an exciting movie as *Star Wars*. (最上級を用いて)
Star Wars is _____.

4 次の日本文に合う英文になるように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 老いの顔に宿る明るさほど美しいものはない。
 (is / than / nothing / beautiful / more / cheerfulness) in an old face.

- (2) 故郷からの便りは何にもましてうれしいものです。
 Nothing (as / as happy / from / makes / me / news) home.

- (3) こんなにおいしいリングは今まで食べたことがない。
 This is (ever / wonderful / have / I / apple / the most) tasted.

- (4) その夏は何年かのうちで最も暑い夏だった。
 It was one of (for / there / hottest / been / the / years / had / summers).

- (5) こんなにおもしろい映画は見たことがありません。
 (never / a / I / amusing / so / seen / have / as / movie) this.

- (6) オーケストラにはほかのどの楽器よりもバイオリンが多い。
 There (an orchestra / any / are / instrument in / more / other / than / violins).

Lesson

20

関係詞の構文(3)

★ 要点整理 ★

① 関係副詞 **when, where, why, how**

I can't remember the year **when** it happened. [先行詞：時を表す語句]

(私はそれが起こった年が思い出せない)

The office **where** he works is near here. [先行詞：場所を表す語句]

(彼が働いているオフィスがこの近くにありますが)

Tell me (the reason) **why** you were absent yesterday. [先行詞：the reason]

(昨日欠席した理由を言いなさい)

I know **how** they solved the problem. [先行詞：the way - 省略する]

(私は彼らがその問題を解決した方法を知っている)

○ **when** = <on[in, at] which>, **where** = <in[at, on] which> の働きをする。why の先行詞は省略できる。

② **This[That] is why** ～. : こういうわけで[そういうわけで]～。

This[That] is how ～. : このようにして[そのようにして]～。

This is why we are angry. (こういうわけで私たちは怒っているのです)

That is how he found out the truth. (そのようにして彼は真実を探り出した)

③ **where S+V** : S が～する場所(に) / **the way S+V** : S が～するやり方

The bus stop is not far from **where** I live. (バス停は私の住む場所から遠くない)

I don't like **the way** she speaks. (私は彼女の話し方が好きではない)

〔 練習問題 〕

1 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、()に適する語を書きなさい。

- (1) { She took the dress back to the shop at which she had bought.
She took the dress back to the shop () she had bought.

- (2) { This is the reason I gave up the plan.
This is () I gave up the plan.

- (3) { I clearly remember the day when we won first prize at the chorus contest.
I clearly remember the day () () we won first prize at the chorus contest.

- (4) { Sapporo is the place where we went on our school trip.
Sapporo is the place () () we went on our school trip.

- (5) { Watch the way I catch the ball.
Watch () I catch the ball.

2 次の英文を日本語に直しなさい。

- (1) August 6th is the day when the atomic bomb was dropped for the first time in history.

- (2) He made a lot of money in big cities and went back to the small town where he was born.

- (3) The reasons why the number of insects is decreasing in this area are various.

- (4) I hate the way she always criticizes me.

3 次の日本語に合う英文になるように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) ハワイは一年中太陽がさんさんと照っているところである。
 Hawaii (shines / a place / is / the warm sun / where) all year around.

- (2) これで彼に対する考え方が変わるかもしれない。
 This may (think / you / change / way / the) about him.

- (3) 戦争のない日が来ることを私は信じています。
 I believe (the day / there / when / will be / will / come) no war.

- (4) 彼らはハネムーンで滞在予定のホテルに到着しました。
 They arrived at the hotel (for / staying / their / they / were / where) honeymoon.

- (5) テッドがそんなに急いで帰るのは、何か特別な理由があるのですか。
 Is there any particular (Ted / reason / should / why / leave) so suddenly?

- (6) 本を読み終わったら、元の場所に戻してください。
 When you've done with the book, please (back / found / it / put / where / you / it).

4 次の日本語の意味を表す英文を関係副詞を用いて完成させなさい。

- (1) 私は子供が好きです。そういうわけで教師になりました。
 I like children. _____ a teacher.
- (2) 私が泊まっているホテルはアメリカの会社が経営しています。
 _____ is run by an American company.

Lesson

25

副詞節の構文(1) 一時①

★ 要点整理 ★

- ① **It is [has been] ~ years since ...** : ...してから～年になる。
~ years have passed since ... : ...してから～年が過ぎた。
It is [has been] ten years since he came to Japan.
 (彼が日本に来てから10年になる)
Six months have passed since Jim went to New York.
 (ジムがニューヨークへ行ってから6か月が過ぎた)
 ◎ 両者は同じ内容を表す。It has been ~は主に《米》用法。
- ② **It will not be long before ...** : ...するまで長くはかからないだろう。
It will not be long before the sun rises. (まもなく陽が昇るでしょう)
 ◎ before 節は未来のこともでも現在形で表す。
- ③ **It is not until ~ that ...** : ~して初めて[やっと]…する。
It was not until yesterday **that** he began studying for the examination.
 (彼は昨日になってやっと試験勉強を始めた)
It is not until you become ill **that** you appreciate the blessing of health.
 (病気になって初めて健康のありがたさがわかる)
 ◎ until のあとには句または節がくる。It is ~ that ... の強調構文である。(Lesson 34を参照)

練習問題

1 次の英文を日本語に直しなさい。

- (1) It has been twenty years since she got married to John.

- (2) Three years have passed since they started this special English education program.

- (3) It will not be long before Japan becomes a society of the elderly.

- (4) It wasn't until yesterday that I was told the news.

- (5) It will be a full year next week since I moved to this apartment.

- (6) It was not until some time in the afternoon that we got the first reports of the trouble.

2 次の英文の()に適する語句を選びなさい。

- (1) It is some twenty years () she moved to California.
 ① before ② since ③ when ④ while
- (2) It will be a long time () he can publish his first book.
 ① after ② before ③ when ④ that
- (3) How long () since you quit that company?
 ① did it pass ② it is ③ has it passed ④ has it been

3 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、()に適する語を書きなさい。

- (1) { My grandfather has been dead for five years.
 Five years () () since my grandfather's death.
 () () five years since my grandfather ().
- (2) { She didn't come until the party was almost over.
 It was not () the party was almost over that she ().

4 次の英文とほぼ同じ内容を表す文を完成させなさい。

- (1) { Alice will soon recover from her illness.
 It will not be _____.
- (2) { My father had a traffic accident two years ago.
 It's been _____ had a traffic accident.

5 次の日本語に合う英文になるように、()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 真相はまもなくわかるだろう。
 It (before / truth / will / not / know / long / we / be / the).

- (2) 彼を訪れて初めて彼の病気がどんなに重いかわかった。
 It (not / realized / was / that / visited him / I / I / until) how ill he was.

- (3) あなたがこの車を買ってからどのくらいたちますか。
 (you / bought / how / is / this car / since / it / long) ?

- (4) 日本に来て初めて私はそれを知った。
 It was (came / I / not / Japan / to / until / that) I knew it.

- (5) 彼女が自由に日本語を話すことができるのもそう遠くはないでしょう。
 (be / it / she / long / can / won't / before) speak Japanese fluently.

Lesson

30

副詞節の構文(6) — 条件

★ 要点整理 ★

- ① **unless** S+V : …でなければ (= if ~ not)
 You will be late **unless** you hurry. (急がなければ遅れますよ)
 ② 条件を表す副詞節では、未来のことも現在形で表す。
- ② **as[so] long as** S+V : …である限りは、…ということであれば (= if only)
as[so] far as S+V : …である限りでは
 Things will not change **as long as** he lives.
 (彼が生きている限り、物事は変わらないだろう)
As far as I know, she never breaks her promise.
 (私の知る限り、彼女は決して約束を破らない)
 ③ **as[so] long as** は時間的な範囲や条件を表す。**as[so] far as** は力の及ぶ範囲を表す。
- ③ 命令文 + **and[or]** : ~しなさい、そうすれば[さもないと]…。
Get up now, and you'll be in time for class.
 (= If you get up now, you'll be in time for class.)
 (今起きなさい、そうすれば授業に間に合うでしょう)
 ④ You must ~などの文や名詞句が命令文の代わりに条件を表すこともある。

〔 練習問題 〕

1 次の英文を日本語に直しなさい。

- (1) Unless you require emergency treatment, don't call 119.

- (2) You cannot lose weight unless you give up eating between meals.

- (3) As long as I can work, I will work for this company.

- (4) We don't have to wait; he isn't coming today, as far as I know.

- (5) You can go wherever you like, as long as you are back in time.

- (6) As far as this matter is concerned, I am not responsible at all.

- (7) You have only to push this button, and the door will open by itself.

2 次の英文の()に適する語句を下から選びなさい。

- (1) Whether they win or lose doesn't really matter, () they enjoy the game.
 (2) I'm going to get a job () I graduate.
 (3) You cannot write the report () you do the research first.
 (4) Everything was covered with snow () she could see.
 ① unless ② as soon as ③ as long as ④ as far as

3 次の英文の()に **and** または **or** を入れなさい。

- (1) We should leave immediately, () else we'll miss the flight.
 (2) Go straight for about 10 minutes, () you will see a tall red building on your right.
 (3) Ten minutes earlier, () we could have caught the last bus.
 (4) Tell the truth, () you will be punished.

4 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、()に適する語を書きなさい。

- (1) { Speak to the director only if it is necessary.
 { Don't speak to the director () it is necessary.
 (2) { I'll lend you the money on condition that you return it within three months.
 { So () as you return it within three months, I'll lend you the money.
 (3) { Study hard, and your grades will improve gradually.
 { () you study hard, your grades will improve gradually.
 (4) { Be more careful, otherwise you may be hurt.
 { You may be hurt () you are more careful.

5 次の日本語に合う英文になるように、()内の語を並べかえなさい。

- (1) 数学に関する限り、私はあなたにとってもかなわない。
 (as / concerned / far / is / math / as), I am not in the same league as you.
-

- (2) やさしい英語で書かれていれば、どの本でも結構ですよ。
 (as / will / any / book / long / do) as it is written in easy English.
-

- (3) 雨がやまないうちは外出しません。
 We (go / it / out / stops / unless / won't) raining.
-

- (4) 5時前には始めなければ、夕食までに終わらないよ。
 We must (time / we / five / won't / or / finish / start / in / before) for our supper.
-

Lesson

1

主語の決定

★ 暗記例文 ★

① 一般人称の **we, you**

- (a) **We** should keep our promises. (人は[私たちは]約束を守るべきである)
 (b) **You** can't judge a book by its cover. (本は表紙で判断できない)

② 非人称の **it**

- (a) **It** rained heavily last night. (昨夜は雨が激しく降った)
 (b) **It** is necessary for us to do our best. (私たちは最善を尽くすことが必要だ)
 (c) **It** is clear that you are right. (あなたが正しいことは明らかです)
 (d) **It** seems that she knows the news. (彼女はそのニュースを知っているようだ)

③ 無生物主語

- (a) **This book** will tell you a lot about that country.
 (この本を読めば、その国のことがよくわかるでしょう)
 (b) **What** made you say such a thing? (どうしてそんなことを言ったのですか)

④ 否定主語

- (a) **Nobody** knows what will happen tomorrow.
 (だれも明日何が起こるか分からない)
 (b) **No words** can express my feelings. (私の気持ちは言葉では言い表せない)

- ① (a) **we** は「自分を含めた一般の人」を表す。日本語では主語が省略されている文をよく見かけるが、その場合、この「一般の人」を主語にして英訳できることが多い。
 (b) **you** は「相手を含めた一般の人」を指すことがある。また、**they** や **one** も同じように「一般の人」を指す場合に用いられる。They say that ... 「…だそうである」
- ② (a) **it** は天候を表すときの形式的な主語として用いられる。このほかに、寒暖、時間、距離、明暗などを表す場合にも用いる。It is three o'clock now. (今、3時です)
 (b) **it** は **to** 不定詞の代わりにする形式主語として用いられる。
 (c) **it** は名詞節(**that** 節など)の代わりにする形式主語として用いられる。
 (d) **it** は **seem[appear/happen]** などの動詞の主語として用いる。It seems[appears] that ... 「どうやら…らしい」、It happens that ... 「たまたま…である」
- ③ (a) 例文は「この本はあなたにその国についてたくさんのことを教えるだろう」が直訳。英語では無生物を主語とした文がよく用いられる。
 (b) 「何があなたにそんなことを言わせたのか」が直訳。
- ④ (a) **nobody** (だれも～ない), **no one** (だれも～ない), **nothing** (何も～ない) などの否定語が主語になると、文全体が否定の意味になる。これらは単数扱いになる。
 (b) 〈**no** + 名詞〉が主語になると、文全体が否定の意味になる。

(練習問題)

1 次の日本語に合う英文になるように、____に適切な語句を補いなさい。

- (1) お年寄りや子供には親切にするべきである。
 _____ to elderly people and children.
- (2) 昨日から雨が降ったりやんだりしている。
 _____ on and off since yesterday.
- (3) 彼はどうやら北海道の出身らしい。
 _____ he comes from Hokkaido.
- (4) この薬を飲めばすぐに気分がよくなりますよ。
 _____ feel better soon.
- (5) 新聞によれば、今年の冬は大雪だそうです。
 The newspaper _____ have a lot of snow this winter.
- (6) 手負いのトラほど危険な動物はいない。
 _____ than a wounded tiger.

2 次の日本語を英文に直しなさい。

- (1) 人は日ごとに年を取っていきます。 **Hint** 日ごとに：day by day

- (2) カナダでは英語とフランス語を話している。

- (3) 毎日英語を練習することが大事です。

- (4) 私は先日、たまたま図書館で旧友に会いました。 **Hint** 先日：the other day

- (5) 天気予報では今晚は雪になるそうです。 **Hint** 天気予報：weather forecast

- (6) 世の中で愛が最も大切であることを否定するものはだれもない。

3 **Challenge** 次の日本語を英文に直しなさい。

水を温めるとどうなるだろうか。子供でもこの問いには簡単に答えることができる。これほど簡単な問いはほかにはなさそうである。

Hint 温める：heat 第3文は〈no other + 名詞〉を主語に。

Lesson

5

受け身

★ 暗記例文 ★

① be 動詞＋過去分詞

- (a) Our teacher **is respected** by every student.
(私たちの先生はすべての生徒に尊敬されています)
- (b) What **was talked about** in the meeting? (集会では何が話されたのですか)
- (c) **It is said that** plants make air clean.
(植物は空気をきれいにすると言われている)

② 受け身の未来形・進行形・完了形

- (a) Her new book **will be published** soon. (彼女の新しい本はまもなく出版される)
- (b) A bridge **is being built** over the river. (その川に橋が架けられているところだ)
- (c) The windows **have already been closed**. (窓はすでに閉められた)

③ get＋過去分詞

Bob **got scolded** for being late. (ボブは遅刻したので叱られた)

④ have[get]＋O＋過去分詞

- (a) I **had my umbrella blown** off by the wind. (私は風で傘を吹き飛ばされた)
- (b) He **got his leg broken** while he was playing soccer.
(彼はサッカーをしていて脚を折ってしまった)

- ① (a)(b) 「(…によって)～される,～されている」という受け身の意味は、〈be 動詞＋過去分詞〉で表す。「～された」という過去の受け身は、be 動詞を過去形にすることによって表す。行為者を表す by ～(～によって)は省略されることが多い。talk about のような句動詞はこれを1つの他動詞と考えて、受け身の文を作ることができる。
- (c) 「…と言われている」は It is said that で表す。例文は Plants are said to make air clean. と表すこともできる。
- ② (a) 「～されるでしょう」という受け身の未来形は、〈will be＋過去分詞〉の形で表す。〈be 動詞＋going to be＋過去分詞〉の形も使われる。
- (b) 「～されているところだ」という受け身の進行形は〈be 動詞＋being＋過去分詞〉の形で表す。
- (c) 「～されてしまった」「ずっと～されている」「～されたことがある」という受け身の現在完了形は〈have been＋過去分詞〉の形で表す。
- ③ 「～されている」という状態ではなく、「～される」という受け身の動作を表すとき、〈get＋過去分詞〉を使うこともできる。主語にとって好ましくないことを示すことが多い。
- ④ 「(物)を～される」と言うときは、〈have[get]＋O＋過去分詞〉で表すことができる。この構文は「Oを～してもらう」という使役の意味にも用いられる。(Lesson 6 ③を参照)

(練習問題)

1 次の日本語に合う英文になるように、____に適切な語句を補いなさい。

- (1) 由紀は先生に本をもらいました。

Yuki _____ her teacher.

- (2) 彼らは駅に8時に集まるように言われました。

Hint 集まる : get together

They _____ at eight.

- (3) この花は英語で何と呼ばれていますか。

What _____ in English ?

- (4) 彼は金持ちだと言われています。

He _____.

- (5) 彼女は若いころ女優だったと言われています。

It _____ an actress when she was young.

- (6) 私は先週、自転車を盗まれてしまった。

I _____ last week.

2 次の日本語を英文に直しなさい。

- (1) あなたたちはここで何をするように言われたのですか。

- (2) その建物の中にはさらにいくつかの部屋が作られるでしょう。

Hint さらにいくつかの : some more

- (3) 私がそこに着いたときには、ある催し物が行われている最中だった。

Hint 催し物 : event 行う : perform

- (4) 裸足で歩くと、蛇にかまれるかもしれません。

Hint 裸足で : barefoot

- (5) 少年は木から落ちて、腕を骨折してしまった。

- (6) ユカリは彼が自分に興味を持っていることを知って驚いた。

3 **Challenge** 次の日本語を英文に直しなさい。

この物語は今から500年ほど前に作られたと言われており、世代から世代へと伝えられてきました。

Hint 伝える : hand down

Lesson

10

関係詞節(2)

★ 暗記例文 ★

① 関係代名詞の非制限用法

- (a) My father, **who** is now in Europe, will come back soon.
(私の父は今ヨーロッパにいますが、まもなく帰ってきます)
- (b) Mr. Allen, **whose** wife is a Japanese, teaches us math.
(アレン先生は、奥さんが日本人ですが、私たちに数学を教えています)
- (c) Those boys, **whom** I know well, are very good baseball players.
(あの少年たちは、私はよく知っているが、とても野球がうまい)
- (d) She lent me a novel, **which** was very interesting.
(彼女は1冊の小説を貸してくれたが、とてもおもしろかった)
- (e) He told us that he had finished the work, **which** was false.
(彼は私たちに仕事を終えたと言ったが、それはうそだった)

② 関係副詞

- (a) Thursday is the day **when** I am busiest. (木曜日は私が一番忙しい日です)
- (b) This is the company **where** my sister works. (これは姉が働いている会社です)
- (c) Just tell me (the reason) **why** you didn't come yesterday.
(昨日どうして来なかったのかその理由をちょっと教えてください)
- (d) That's **how[the way]** she cooked the fish.
(彼女はそんなふうにその魚を料理した)

- ① (a) 「私の父は今ヨーロッパにいますが、…」のように、先行詞を補足説明するには、関係代名詞の非制限用法(コンマ+関係代名詞)を用いる。
- (b) 先行詞が固有名詞の場合には、関係代名詞は常に非制限用法になる。
- (c) この which は〈接続詞+代名詞〉と同じ役割をしているので、次のように言い換えることができる。= She lent me a novel, and it was very interesting.
- (e) 非制限用法の which は、前文の内容を先行詞として受けることができる。
- ② (a) 「…が～する(時)」は関係副詞 when を用いて、〈先行詞(時)+ when ...〉で表す。when は〈前置詞+関係代名詞〉と同じ働きをする。the day when (= on which) ...
- (b) 「…が～する(場所)」は関係副詞 where を用いて、〈先行詞(場所)+ where ...〉で表す。where は〈前置詞+関係代名詞〉と同じ働きをする。the company where (= in which) ...
- (c) 「…が～する理由」は関係副詞 why を用いて、the reason why ... で表す。the reason または why を省略することもできる。
- (d) 「…が～するやり方」は how[the way] ... で表す。the way how ... とはしない。

(練習問題)

1 次の日本語に合う英文になるように、____に適切な語句を補いなさい。

- (1) 私の兄は今英国にいますが、来年日本に戻って来ます。

My brother, _____, will come back to Japan next year.

- (2) 武史はお父さんが大学の教授ですが、数学がとても得意です。

Hint 大学の教授：professor
Takeshi, _____, is very good at math.

- (3) 彼女は私たちを昨日そこで見かけたと言っているが、それは本当であるはずがない。

She says she saw us there yesterday, _____.

- (4) 秋は空がとても美しく見える季節です。

Fall is _____ very beautiful.

- (5) ここは画家がよくスケッチに来る場所である。

_____ artists often come to sketch.

- (6) 彼は先週学校を休んだ理由を私たちに話した。

_____ he stayed away from school last week.

2 次の日本語を関係詞を用いて英文に直しなさい。

- (1) トムは私にCDを何枚か貸してくれたが、それらはとてもよかった。

- (2) グリーンさん(Ms. Green)は3年前に来日しましたが、とても日本語が上手です。

- (3) 私たちはある町を訪れたが、そこは美しい公園で有名だった。

- (4) 私たちが初めて会った喫茶店を覚えていますか。

Hint 喫茶店：coffee shop

- (5) あなたの夢が実現する日がもうすぐ来るでしょう。

Hint 実現する：come true

- (6) 私はこのようにしてこの人形を作りました。

3 **Challenge** 次の日本語を関係詞を2つ用いて英文に直しなさい。

その男はとても歳を取っていたが、長年住んでいたその村を去らなくてはならなかった。

Lesson

15

副詞句・節(3) — 条件・仮定を表す場合

★ 暗記例文 ★

① 条件を表す場合

- (a) Akiko will come with us **if** you ask her.
(君が頼めば、明子もいっしょに来るだろう)
- (b) **As long as** I live, I'll never forget you. (生きている限り、あなたを忘れはしない)
- (c) I'll go home **unless** I have anything to do. (することがなければ帰ります)
- (d) Leave now, **and** you'll be in time for class. (今行けば、授業に間に合うよ)
Study harder, **or** you'll fail the exam. (もっと勉強しないと、試験に落ちるよ)

② 事実と反する仮定を表す場合

- (a) **If I were** a bird, I **would** fly to you.
(もし私が鳥だったら、君のところに飛んでいくのに)
- (b) **If he had come** earlier, he **could have seen** her.
(もっと早く来ていたなら、彼は彼女に会えただろうに)
- (c) I **wish** I **could** speak English well like you.
(君のように英語が上手に話せたらなあ)
I **wish** I **had seen** you earlier. (もっと早く君に会っていたらなあ)
- (d) **Without** your help, I **couldn't** do this. (君の助けがなければ、これはできないよ)
A wise student **wouldn't** do such a thing.
(賢い生徒ならそんなことはしないだろう)

- ① (a) 「もし…ならば」と条件を表す場合には、未来のことでも現在時制で表す。
- (b) 「…である限りは、…でさえあれば」という条件は、as[so] long as ... で表す。
- (c) 「もし…でなければ」という条件は、unless ... で表すことができる。unless = if ~ not
- (d) 「～すれば…」 「～しなければ…」 という内容は、〈命令文, and〉 = 「～しなさい、そうすれば…」, 〈命令文, or〉 = 「～しなさい、さもないと…」 で表すこともできる。
- ② (a) 「もし(今)…ならば、～なのに」という現在の事実と反する仮定を表すときは、仮定法過去を用いる。〈If S + 動詞の過去形 ..., S' would[could] + 動詞の原形～.〉が基本形。
- (b) 「もし(あのとき)…だったならば、～だったのに」という過去の事実と反する仮定を表すときは、仮定法過去完了を用いる。〈If S had + 過去分詞 ..., S' would[could] have + 過去分詞～.〉が基本形。if it were not[had not been] for ~ 「～がなければ[なかったならば]」
- (c) 「(今)…であればいいのに」という現在の事実と反する願望は、〈I wish S + 動詞の過去形〉で表す。「(あのとき)…だったらいいのに」という過去の事実と反する願望は、〈I wish S had + 過去分詞〉で表す。
- (d) 「もし…ならば」に相当する部分を副詞句や主語で表せる場合もある。

(練習問題)

1 次の日本語に合う英文になるように、____に適切な語句を補いなさい。

- (1) もし明日雨が降れば、イベントは来週に延期されます。
If _____, the event _____ till next week.
- (2) 静かにしているなら、この部屋にいてもいいです。
You can stay in this room as _____.
- (3) この本を読まなければ、彼の言うことはわからないだろう。
_____ you read this book, you _____.
- (4) もしあなたが私だったら、この問題をどう扱いますか。
_____, what would you do with this problem?
- (5) 私はもう少し若ければなあと思います。
I often _____.
- (6) もし彼女が昨日ここにいたら、あなたの歌を聞いたのだが。
If she _____ yesterday, she _____.

2 次の日本語を書き出しに続けて英文に直しなさい。

- (1) この仕事をすぐ仕上げないと、休憩できないよ。 **Hint** 休憩する：take a rest
Finish _____
- (2) もし太陽がなかったなら、どんな生物も生きることにはできないだろう。
If it _____
- (3) 私は高校時代にもう少し英語を勉強しておけばよかったのだが。
I wish _____
- (4) 彼女の助言がなかったなら、私たちは失敗していたかもしれない。
Without _____
- (5) よい母親だったら、子供をそんなふうには扱わないだろう。
Hint そんなふうには：that way
A good mother _____

3 **Challenge** 次の日本語を英文に直しなさい。

招待状が3日早く届いていたならばなあ。そうすれば私はそのパーティーに出ることができたのだが。 **Hint** 招待状：invitation

Lesson

20

否定の表現

★ 暗記例文 ★

① 主語が否定語の場合

- (a) **Nobody** knows who he is. (彼が何者かはだれも知らない)
 There is **nothing** wrong with my watch. (私の腕時計はどこも故障していない)
- (b) **No** student dislikes Ms. Kitayama. (北山先生が嫌いな生徒は一人もいない)
- (c) **Very few** people believe that he is honest.
 (彼が正直だと信じている人はほとんどいない)
 There is **little** wine left in your glass.
 (あなたのグラスにはワインがほとんど残っていない)

② 目的語が否定語の場合

- (a) I ate **nothing** this morning. (私は今朝、何も食べなかった)
- (b) He has **no** plan for the summer vacation. (彼は夏休みの計画はまったくない)
- (c) They paid **little** attention to my words.
 (彼らは私の言葉にほとんど注意を払わなかった)

③ 部分否定

- (a) She does **not always** take this train.
 (彼女はいつもこの電車に乗るとは限らない)
- (b) **Not everyone** likes sports. (すべての人がスポーツを好きなわけではない)

- ① (a) nobody または no one を主語にして、「だれも～ない」の意味を表すことができる。また nothing を主語にして、「何も～ない」の意味を表すことができる。nobody, no one, nothing が含まれた文は否定文である。
- (b) 〈no + 名詞〉を主語にして、「どの～も…ない」の意味を表すことができる。
- (c) 〈few[little] + 名詞〉を主語にして、「ほとんどの～は…ない」の意味を表すことができる。few は可算名詞に、little は不可算名詞に用いる。
- ② (a) nobody, no one, nothing を目的語にして、「だれも[何も]～ない」の意味を表すことができる。例文は I didn't eat anything this morning. と同意である。
- (b) 〈no + 名詞〉を目的語にして、「どんな～も…ない」の意味を表すことができる。
- (c) 〈few[little] + 名詞〉を目的語にして、「ほとんどの～を…しない」の意味を表すことができる。
- ③ (a) 「いつも～とは限らない」は not ~ always[necessarily] で表す。
- (b) 「すべてが～というわけではない」は not ~ every[all] で表す。同様に、not ~ both は「両方とも～というわけではない」の意味を表す。また、not ~ quite[completely / entirely] 「完全に～というわけではない」も部分否定を表す。

(練習問題)

1 次の日本語に合う英文になるように、 に適切な語句を補いなさい。

- (1) 少年たちはだれもサッカーの練習をしたくなかった。

_____ soccer.

- (2) 世の中で愛よりも大切なものは何もない。

There _____ in the world.

- (3) 私たちには時間がほとんど残っていなかった。

We _____ left.

- (4) 彼は先月、ほとんど本を読まなかった。

He _____.

- (5) 金持ちがいつも幸福とは限らない。

The rich _____.

- (6) 私は彼の言うことが完全に理解できるわけではない。

I _____ what he says.

2 次の日本語を英文に直しなさい。

- (1) 日本のどの山も富士山ほど高くはない。(原級を用いて)

- (2) 今日はみなさんにお話できることは何也没有ありません。(Iを主語にして)

- (3) その画家については何も知られていなかった。

Hint 画家：artist

- (4) 彼は友達を作ることにほとんど関心がなかった。

Hint ~に関心がある：have interest in ~

- (5) 若い人たちがみんなその有名な歌を知っているというわけではない。

- (6) 彼女は私の妹たちの両方を知っているわけではない。

3 **Challenge** 次の日本語を英文に直しなさい。

冷蔵庫には食べるものは何も見つからず、飲み物もほとんど残っていなかった。

Hint 冷蔵庫：refrigerator

1) 発展英作文

① 最近携帯電話を持っている人が多くなり、若い人はほとんど持っているようだ。

★訳しやすく日本語を言い換えよう

・「～する人が多くなっている」

⇒ 「ますます多くの人が～している」 = more and more people ~ (Lesson 8 ④参照)

⇒ 「～する人の数が増えている」 = the number of people who ~ is increasing

* the number of のあとは無冠詞複数形。

★語句

・「最近」 = these days / nowadays * 現在時制で使う。

・「携帯電話」 = cell[cellular] phone / cellphone / mobile phone

【類題】 最近は、英語を勉強するために海外に出かける学生が増えています。

② 彼と初めて知り合ってから、まる3年になるのに、私にはまだその性格の片鱗しかわかっていない。

★重要表現

・「～してから3年になる」 → Three years have passed since S + V(過去形)

→ It is[has been] three years since S + V(過去形)

★訳しやすく日本語を言い換えよう

・「彼と初めて知り合ってから」 ⇒ 「彼に初めて会ってから」 = since I first met him

・「その性格の片鱗しかわかっていない」 ⇒ 「彼の性格についてほとんど[ほんの一部しか]知らない」 = know very little about[only a part of] his personality

★語句

・「まる3年」 = three full[whole] years

【類題】 私のめいはドイツ語を学び始めてから1年になりますが、あと半年もすれば簡単な小説は読めるようになるでしょう。

【語句】 あと半年もすれば：in another six months * 「も」は訳出不要。

【3】 ① だれもが一生の少なくとも3分の1を眠って過ごします。したがって、70歳になるまでには、20年間は眠っていることになります。しかし、年齢によって眠りの量と深さは変わってきます。② 一般的に言って、年をとればとるほど夜よく眠れなくなります。

★重要表現

- ・「…(時)を～して過ごす」→ spend ... ~ ing
- ・「20年間は眠っていることになる」→ 未来完了形〈will have + 過去分詞〉(Lesson 2 ②参照)
* 眠り続けているわけではないので、未来完了進行形にはしない。
- ・「～すればするほど(ますます)…」→ the + 比較級 + S + V, the + 比較級 + S' + V'

★訳しやすく日本語を言いかえよう

- ・「よく眠れない」
- ⇒ 「よく眠ることが難しい」 = it is difficult to sleep well [get enough sleep]

★語句

- ・「少なくとも」 = at least ・「～歳になる」 = reach the age of ~
- ・「一般的に言って」 = generally speaking

① _____

★訳しやすく日本語を言いかえよう _____

【類題】 好奇心が旺盛で、生活を楽しんでいればいるほど、言語は学びやすくなると思います。

【語句】 好奇心が旺盛：curious

4 私たちの社会は急速に高齢化しつつあり、若い労働者の数が着実に減少している。

★重要表現

・「～の数が減少する」→ the number of ~ decreases / ~ decrease in number

★訳しやすく日本語を言いかえよう

・「社会が高齢化しつつある」

⇒「社会が年を取っている」= a society is aging

★語句

・「着実に」= certainly / without a doubt

【類題】 ここ数年間日本人の海外観光者の数は驚くほど増えている。

【語句】 驚くほど：amazingly / surprisingly

ここ数年間：for the past [these] several years

5 本がわかりにくいとき、それが本のせいではなく、読者の方が未熟であるためのことがないではない。こういう場合には、読者自身の成長する日を待つよりほかに手がな
いであろう。同じ本を年月を経てから読み通してみると、よくわかって面白かったとい
う経験をもつ人は少なくないと思われる。

★重要表現

・「～するよりほかに手がな

→ there is nothing for it but to ~

→ the only thing for A to do is to ~

→ there is no choice but to ~ / A have no choice but to ~

★訳しやすく日本語を言いかえよう

・「年月を経てから」

⇒「いくらかの時が経ったあとで」= after some time has passed

⇒「もっとあとの日に」= at a later date

・「～する人は少なくない」

⇒「少なくない人が～する」= not a few people ~ / more than just a few people ~

★語句

- ・「成長する」 = become more mature

類題 海外旅行先では、その国の語学が不得意な人は、想像で食事を注文するしか方法がない。

〔訳しやすく日本語を言いかえよう〕

- ・「海外旅行先では、その国の語学が不得意な人は」 ⇒ 「(その国の)言語が不得意な国を旅行しているとき、その人は」 *関係代名詞 whose を用いる。

〔語句〕 想像で : by guessing / by guess work

6 私はオアシスの美を発見した。それは大洋に浮かぶ小島、絶望した者に差し向けられる幸福である。砂漠をさすらった後に現われるオアシスほど、美しく、また人を奮い立たせるものはない。

★重要表現

- ・「A ほど～なものはない」 → There is nothing more ~ than A.
→ Nothing is as[so] ~ as A. (Lesson 8 参照)

★訳しやすく日本語を言いかえよう

- ・「砂漠をさすらう」
- ⇒ 「道に迷って砂漠を歩き回る」 = wander[walk] around in the desert lost

★語句

- ・「オアシス」 = oasis
- ・「人を奮い立たせる」 = encouraging

類題 日本の風景くらい、旅人の眼を楽しませてくれるものもないだろう。

〔訳しやすく日本語を言いかえよう〕

- ・「旅人の眼を楽しませる」 ⇒ 「旅人の目に訴える」、「旅人の目を惹きつける」

2) 条件英作文

① あなたは山田太郎という交換留学生としてアメリカ合衆国のニューヨーク市にある高校3年生のトム(Tom)君の家にホームステイすることになりました。下記の英文に1から5までの内容を順に入れてトム(Tom)君宛の手紙を完成させなさい。

1. あなたの滞在期間は春休み中の3月下旬の10日間であること。
2. あなたの好きな食べ物と嫌いな食べ物。
3. アメリカ合衆国滞在中に訪れたい場所1ヶ所とその理由。
4. 3月下旬のニューヨークの天候状態の問い合わせ。
5. どんな服をもっていくのがよいかの問い合わせ。

January 5, 20XX

Dear Tom,

How do you do? My name is Taro Yamada. I'm going to be one of the exchange students sent to your city by your sister city Tokyo. I was told today that my host family in America is going to be your family.

考え方

与えられた英文(手紙の形式)の続きを書くので、この英文のスタイルを継続するのがよい。口語文なので、平易な語句や表現を用いて書くように注意したい。

1 「下旬」は月末の10日間を指す。英語では週を用いるのがふつうで、日本語のように10日区切りで月を分けて言う習慣はないので、説明的な訳にする。

2・3は自分の好みについて書けばよい。ただし、これはあなた自身が実際にアメリカに行くわけではなくて、あくまで英文を書くだけであるから、もちろん事実とは違うことを創作して書いても全然かまわない。書きやすい題材を選ぶことも1つの方法である。

4と5は連動している。たとえば天候が寒ければ、冬物のセーターなどが必要だろうかということなどを質問してみるとよい。

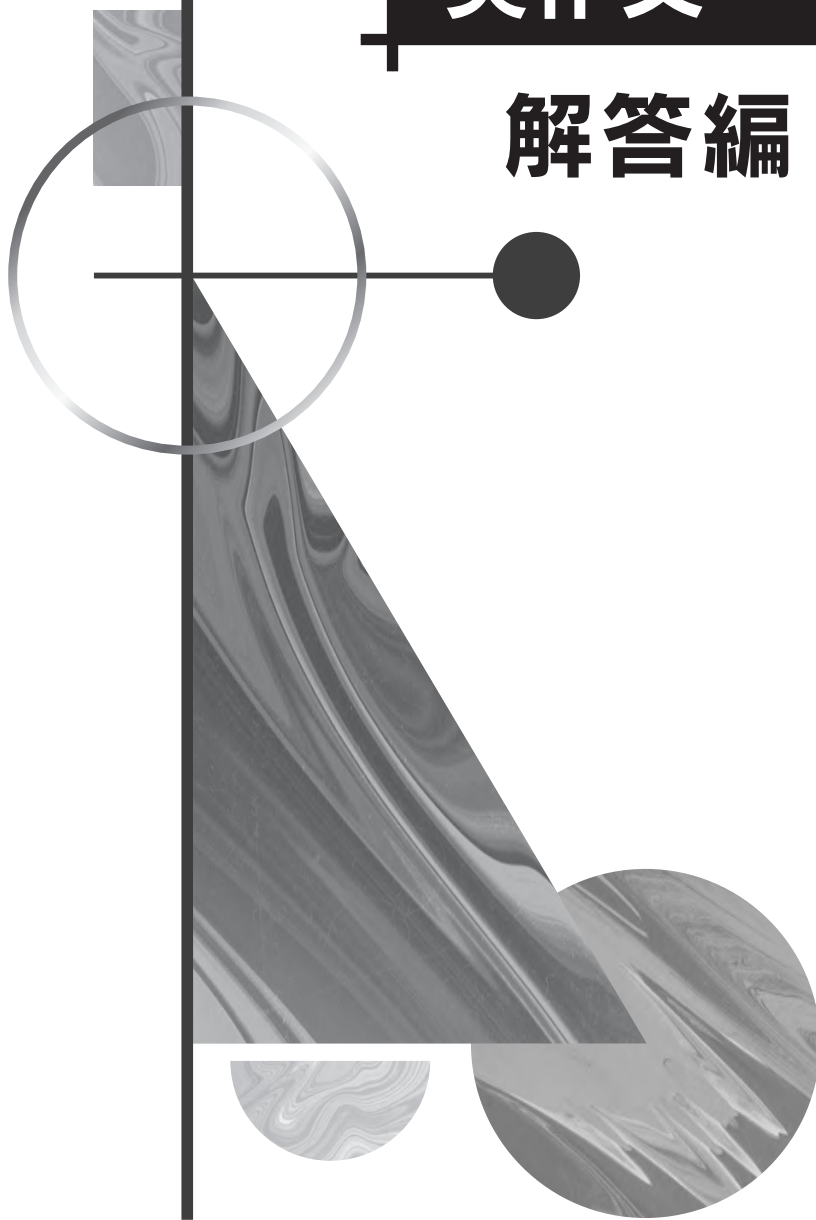
なお、「～したい」という文を作るとき、ここでは want to ～よりも would like to ～を用いるのがよい。

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

高校ゼミ
Essence

英語構文・
英作文

解答編



Lesson 1 it の作る構文(1)

p.8

- 1 (1) 私たちは若いうちに読書の習慣を養うことが望ましい。
 (2) 彼女がそれに関わらなかったのは賢明だった。
 (3) ジャックはこのレポートを書き終えるのにまる2日かかった。
 (4) 私の祖父は毎朝散歩することになっている。
 (5) 急いでいたとはいえ、ドアに鍵をかけ忘れるなんて、われながらとても不注意だったと思った。

解説 (1) cultivate 「養う」 (2) participate in ～ 「～に参加する」 (4) make it a rule to ～ 「～することをルールにする」 → 「～することになっている」 (5) in a hurry 「急いで」

p.9

- 2 (1) be, for (2) cost me
 (3) careless of, leave

解説 (1) had better ～で「～したほうがよい」。「あなたはそこにいたほうがいいでしょう」
 (2) 「私は小包を航空便で送るのに2千円かかった」
 (3) careless は him を批評する形容詞 (He was careless と言える) なので、of him となる。

- 3 how much it costs to go to Paris

解説 A 「パリまで行くのにどのくらい費用がかかるか知っていますか」 B 「わかりません。旅行代理店に聞いてみたらどうですか」

- 4 (1) is necessary for the company to establish more economical methods

- (2) silly of Mary to give up her job
 (3) found it very hard to put this plan into
 (4) It is pointless for three of us to

解説 (3) put ～ into practice 「～を実行する」

- (4) three of us 「私たち3人」

- 5 (1) It was careless of you to do such a thing [a thing like that].

- (2) It takes [will take] (you) two hours to go there by bus.

- (3) They found it impossible to change the plan.

Lesson 2 it の作る構文(2)

p.10

- 1 (1) ロサンゼルスは人よりも自動車のほうが多いというのは事実である。
 (2) 彼女があなたの名前を覚えていないなんておか

しい。

- (3) その事故でだれも負傷しなかったのは奇跡だった。

- (4) よい学者だからといって、必ずしもよい教師だということにはならない。

- (5) 私はふと両親に電話すべきだと思った。

解説 (4) not always ～ 「必ずしも～とは限らない」 (Lesson 32①を参照)

p.11

- 2 (1) surprising that (2) the nation that
 (3) natural, should

解説 (1) surprisingly 「驚いたことに」は文全体を修飾する。(2) 「大統領が死んだことは国民に衝撃を与えた」 (3) be proud of ～ 「～を誇りに思う」

3 ウ

解説 ウは目的格の関係代名詞。他は名詞節を導く接続詞で、It は形式主語。ア「元日には雪が降りそうだ」 イ「便利なものの多くは科学のおかげであることは否定できない」 ウ「それは私の覚えていた最も退屈な午後だった」 エ「私が入学試験に合格したので、両親は喜んだ」

- 4 (1) it true that he bought another

- (2) It is a great pity that they should have refused
 (3) It's hard to believe that she's the same age as Tom.

- (4) it does not follow that he is honest

- (5) It turned out that one of the paintings was missing

解説 (3) hard to believe 「信じがたい」、the same ～ as ... 「…と同じ～」 (5) turn out 「わかる、判明する」

- 5 (1) It is true that Keiko went to the concert.

- (2) It is strange that you (should) make such a mistake.

Lesson 3 it の作る構文(3)

p.12

- 1 (1) いくつかの発見は偶然の産物であったように思える。

- (2) 男は(夕食の)皿洗いをしないものと一般に考えられてきた。

- (3) 私は彼女が冷静にしていることが大切だと思う。

- (4) 彼が私を好きであろうがなかろうが、私にはどうでもよいことだ。

- (5) 私は、何が起きているか当然あなたは知って

いるものと思った。

- (6) 父は私に、「おまえが生活する上で何の不自由もしないように配慮しよう」と言った。
(7) 彼らが行けるかどうかは、彼らの忙しさ次第です。

解説 (1) by accident 「偶然に」 (6) want for ~ 「～がなくて困る」

p.13

- 2** (1) seems that, knows (2) It is, that
(3) take, for, that (4) It, whether
3 (1) is said that there is a secret garden behind
(2) to make it clear that I don't agree
(3) I'll see to it that you
(4) no difference whether she will join us
(5) it quite normal that children should be very curious

解説 (5) normal が感情的判断を表す形容詞なので、that 節で should が使われている。(Lesson 22) を参照)

- 4** (1) was believed that the earth was
(2) little whether you will pass the examination or not
(3) it for granted that her parents love her very much

解説 (2) matter は「問題である」の意味の動詞。little 「ほとんど～ない」はここでは副詞。

Lesson 4 助動詞の構文(1)

p.14

- 1** (1) 彼はほんの今出かけたばかりなので、そんなに遠くまで行っているはずはない。
(2) 私は5日前に彼に手紙を投函したので、彼はもうそれを受け取ったにちがいない。
(3) そのサッカーの試合はおもしろかった。あなたも見るべきでした。
(4) 私は、あなたは彼女に謝る必要はなかったと思う。

p.15

- 2** (1) ① (2) ② (3) ②

解説 (1) 「恵子が今日のお昼にお父さんに会ったはずがないわ。私はその時間に彼女を学校で見たもの。友達と昼食を食べていたわ」 (2) 「あなたは今日の午後彼女に電話するべきだったのに、忘れた」 (3) 「新聞の売り上げがすでに落ち始めており、将来つぶれる新聞社も出てくるかもしれない」

- 3** (1) have (2) need, have

- (3) must, been

解説 (1) 「彼の助言を軽視するとは、あなたも愚かだった」 → 「あなたは彼の助言に従うべきだったのに」 (2) 「彼は勘定を払う必要はなかったのに」 (3) certain 「確かな」。「私は間違っていたにちがいない」

- 4** (1) might have been sent to the wrong address

- (2) I should not have said that.

- (3) must have forgotten all

- (4) ought to have called your home before

- 5** (1) You should not[ought not to] have gone out in the storm.

- (2) She may[might] not have read the book.

Lesson 5 助動詞の構文(2)

p.16

- 1** (1) 危険な化学物質をびんから注ぐときは、どんなに注意しても注意しすぎることはない。
(2) あなたがレース[競走]に勝とうが負けようが問題ではない。最善を尽くせばそれでよい。
(3) そのケーキはとてもおいしかったので、全部食べずにはいられなかった。
(4) 今年の夏は(むしろ)海に行きたい。もう山はたくさんだ。
(5) 彼に話しかけてもむだだ。レンガの壁に話しかけたほうがましなくらいだ。

p.17

- 2** (1) help / but (2) have, do is

- (3) may well

解説 (2) only have to ~ = have only to ~ 「～しさえすればよい」

- 3** (1) may[might] (2) would, listen

- (3) but, sorry

- 4** (1) All you have to do is fill

- (2) not help getting angry at his

- (3) would rather resign than accept them as

- (4) too much the importance of

- (5) would rather go to work than go on holiday

- (6) all that can be heard is

解説 (1) fill out ~ 「～に記入する」 (3) as 「～として」 (4) (emphasize + O + too much) の O が後ろにきている。(6) all that can be heard = all (that) you can hear

(4) 私たちの先生は家庭で少なくとも2時間は勉強すべきだと言います。

解説 (4) be to ～が義務を表す。

p.23

2 **工**

解説 Monsters were said to live in Loch Ness in Scotland. でもよい。アは「怪物がいたと言われていた」、イは「怪物がいたと言われている」の意味。

- 3** (1) seems to be (2) are, to have
(3) was, seen

解説 (2)主節が現在時制, that 節が過去時制なので, 完了不定詞を使う。(3) be to ～が可能を表す用法。可能の意味のときは不定詞が受け身形<to be + 過去分詞>になる。

- 4** (1) seem to have lost my camera somewhere
(2) If you are to win the game
(3) is said to have something to do with
(4) is to be played rain or shine
(5) seemed to be nobody in that conference room
(6) Lettuce is thought to have been introduced

解説 (2) be to ～は if 節で意図を表す。(4) be to ～は予定を表す。rain or shine「降っても照っても」
(6) be introduced into ～「～に導入される, もたらされる」

Lesson (9) **不定詞の構文(4)―知覚動詞**

p.24

- 1** (1) ① (2) ① (3) ①

解説 (2) 受動態なので to 不定詞を用いる。

- 2** (1) 私は彼が署名するのを見るまで, 彼が左利きであることに気づかなかった。
(2) 彼女は彼が車で走り去るのを見送るとき, 目に涙をためて手を振り続けた。
(3) 私たちは植物の権威者がこういうことを何百回も言うのを耳にしてきた。
(4) 木の葉1枚が落ちてても聞こえるほど静かな夜でした。
(5) 私は毎週ピアノのレッスンを受けています。いつかあなたにピアノでモーツァルトを弾くのを聞いてもらいたい。

解説 (2) keep ～ ing 「～し続ける」, wave goodbye 「手を振って別れを告げる」

p.25

- 3** The burglar was seen to break into the house

by someone.

解説 「どろぼうはその家に押し入るところをだれかに見られた」

- 4** nobody saw me come in

解説 「幸運にも, 私はだれにも見られずに中に入った」→「幸運にも, だれも私が入るのを見なかった」

- 5** **ア, ウ**

解説 アの feel, ウの notice は知覚動詞。イ <allow + O + to ～> = 「O が～することを許す」だから go → to go。工 受動態だから buy → to buy。オ <expect + O + to ～> = 「O が～することを期待する」だから answer → to answer。

- 6** (1) to see my husband read my diary

(2) The thief was seen to run away
(3) She felt her house shake slightly
(4) Have you ever heard Takuya speak French?
解説 (1)<see + O + 原形不定詞>の構文。happen to ～「偶然[たまたま]～する」(2)知覚動詞の受動態。(3)<feel + O + 原形不定詞>の構文。(4)<hear + O + 原形不定詞>の構文。

- 7** (1) I want to hear her sing a lullaby.

(2) I have never seen him smile.

Lesson (10) **不定詞の構文(5)―使役動詞**

p.26

- 1** (1) この服は私が着ると少し太って見える。
(2) 彼女は決して子供にわがままを許さなかった。
(3) 私は秘書に報告書を打ち直してもらった。
(4) ジョンソン氏は秘書に毎週の仕事のスケジュールを組ませる。
(5) 母は私に, そのミルクをよく見ていて沸騰させないようにと言った。
(6) エミリーは自分の意志に反して契約書に署名させられた。

解説 (2) have one's own way 「思い通りにする, わがままにふるまう」(5) boil over 「ふきこぼれる」(6) against one's will 「意志に反して」

p.27

- 2** (1) ④ (2) ④ (3) ② (4) ③

解説 (1) get の場合は to 不定詞。「私はこの機械をうまく動かすことができない」(2)無生物が主語のとき, make に強制の意味はない。(4) let us know は「私たちに知らせてください」の意味で, tell us とほぼ同意。

3 I got my friend to do it for me

解説 A「あなたはその物語を全部自分で翻訳したのですか」 B「いいえ、友達にやってもらいました」

4 (1) What, you (2) make, feel

解説 (1)「何があなたに~させたのか」という文に。(2)<make + O + 原形不定詞>の文に。

5 (1) made you choose this university

- (2) let you go on a trip
- (3) made her children clean up their room
- (4) was made to write the composition
- (5) have him help you with

解説 (1)<make + O + 原形不定詞>の構文。(2)<let + O + 原形不定詞>の構文。go on a trip「旅行に行く」(4)使役動詞の受動態。over「もう一度」(5)<have + O + 原形不定詞>の構文。help A with ~「Aの~を手伝う」

Lesson 11 動名詞の構文(1)

p.28

- 1 (1) あなたがコンピュータを使うことに慣れていないことは知っていますが、心配はいりません。噛みつきはしませんから。
- (2) あなたの今後の活躍についていつも連絡してくださることを楽しみにしています。
- (3) 現在の政治状況では、次に何が起こるかかわかったものではない。
- (4) アメリカ合衆国にいるときは、車は右側を走らせることに慣れなければなりません。
- (5) 若者を取り巻く環境はひどく厳しいということは否定できない。
- (6) 「この気候は不快ではありませんか」「少し、でも暑さにはそのうち慣れるものです」

解説 (2) keep in touch with ~「~と連絡を取り続ける」(6) after a while「しばらくして」。oneは一般人称を表し、「人は~」の意味。

p.29

- 2 (1) felt, singing (2) like eating
- (3) impossible, deny / can deny

解説 (1) mood「気分」。「私は大声で叫びたい[歌いたい]気分だった」(2) appetite「食欲」。「ジェーンは食欲がぜんぜんないと言っている」(3)「その事実を否定することはできない」/「その事実を否定することは不可能である」/「だれもその事実を否定できない」

3 (1) looking forward to hearing from you

- (2) you feel like having a cup of tea
- (3) no telling which team will win
- (4) I'll ever get used to living
- (5) are not accustomed to making a speech

解説 (1) hear from ~「~から便りがある」(4) not ever = never (5) in public「人前で」

4 didn't feel like doing anything

解説 「フレッドはその日のきつい仕事に疲れはてた。その晩は何もする気がしなかった」

- 5 (1) used[accustomed] to getting up early
- (2) like studying today

Lesson 12 動名詞の構文(2)

p.30

- 1 (1) 私が電話をかける間、私の荷物から目を離さないでいてくださいませんか。
- (2) 今晚はうちにお泊まりになってはいかがですか。
- (3) 愛と信頼が人生にとって非常に大切であることは言うまでもない。
- (4) これ以上彼と議論してもむだです。
- (5) 自分で努力する気のない人を助けようとして何の役に立つのですか。

解説 (1) keep an eye on ~「~から目を離さない」(3) of importance = important (4) any furtherは否定文で「これ以上(~ない)」の意味。

p.31

- 2 (1) say to watching (2) goes, saying
- (3) use[good] crying

解説 (1)「今度の土曜日にサッカーの試合を見るのはどうですか」(2) needless to say「言うまでもなく」。「お金がすべてではないことは言うまでもない」(3)「過去の誤りのことで泣いてもむだだ」

3 Would you mind putting them on the desk

解説 A「ほら、あなたがほしがっていた本です」 B「机の上に置いていただけますか」

- 4 (1) mind my borrowing your history book
- (2) Would you mind if I closed the window?
- (3) What do you say to playing tennis next Sunday?

- (4) It goes without saying that everyone
- (5) Do you mind my asking what
- (6) It is no use giving her any advice.
- (7) Would you mind leaving your message on my

解説 (1)借るのは「私」なので my borrowing となる。(7)伝言を置いていくのは「あなた」なの

p.36

- 1 (1) 彼女はチームのほかのどのメンバーよりもよく練習する。
 (2) 眠りについてからかかってくる電話ほど腹立たしいものはない。
 (3) おそらくわが国の歴史上、シェークスピアほど賞賛された作家はいないだろう。
 (4) その映画はとても退屈だった。今までに見た最悪の映画だったと思う。
 (5) スミス裁判官は公平なので、ほかのどの裁判官よりも尊敬されている。

p.37

- 2 (1) larger, any other
 (2) more, anything else / Nothing, as
 (3) mountain, more
- 3 (1) never read a more interesting book than
 (2) the most exciting movie (that) I have ever seen
- 4 (1) Nothing is more beautiful than cheerfulness
 (2) makes me as happy as news from
 (3) the most wonderful apple I have ever
 (4) the hottest summers there had been for years
 (5) I have never seen so amusing a movie as
 (6) are more violins than any other instrument in an orchestra
- 解説 (5)(so + 形容詞 + a + 名詞 + as)の語順に注意。

p.38

- 1 (1) ジョージはトムの家を訪ねる機会があったが、その家は彼の家の2倍の大きさだった。
 (2) 失われた時間は精一杯勉強して取り戻します。
 (3) 私たちを一番感動させたのは、彼の言葉よりはむしろ彼のふるまいだった。
 (4) 彼は裕福だったけれども、できるだけ質素な生活を送ろうとした。
 (5) 小学生が外で遊ぶ時間は20年前よりも少ない。
 (6) 人の価値は社会的地位よりもむしろ人格によって判断されるべきだ。
- 解説 (2) make up for ~ 「～の埋め合わせをする」
 (5) spend A ~ ing 「～してAを過ごす」 (6) not so much A as B の文。by ~ 「～によって」

p.39

- 2 (1) less, than (2) much, as
 (3) times, large
- 解説 (1)<less + 原級>は反対の意味の比較級に相当する。less expensive = cheaper (3)人口が「多い」「少ない」は large / small で表す。
- 3 (1) so much (2) loud(ly), possible
 (3) less talented
- 解説 (1)「彼女は怠け者というよりはむしろ楽天家だ」 (2) at the top of one's voice 「声を限りに」
- 4 (1) costs half as much as
 (2) used to have twice as many books
 (3) of foreign customs may be negative rather than
 (4) It took three times longer than
 (5) I gave him as much help as I could.
- 解説 (2) used to ~ 「以前は～した」 (5)<as much + 名詞 + as>の語順に注意。

p.40

- 1 (1) senior, me
 (2) The older, the weaker
 (3) no less
- 解説 (1) to のあとは目的格になることに注意。

p.41

- 2 (1) 彼は私より3歳若いですが、知識と知恵では私より優れている。
 (2) 英語は勉強すればするほどおもしろくなるでしょう。
 (3) 自信家の科学者はその実験に成功したためますます自信を持った。
 (4) 私はあなたと同様に、この場所をよく知りません。
 (5) あなたはそんな荒れ模様の天気の中を海に泳ぎに行くなんてばかなことをするべきではない。
 (6) 彼が何も言わなかったので、状況はますます複雑になった。
- 3 (1) The longer, less (2) inferior to
 (3) stranger because
- 解説 (1)「緊張が解けていった」を「より少なく緊張した」と表す。
- 4 (1) the more difficult it becomes to
 (2) no more able to operate
 (3) The more I thought about the plan, the less

が難題を解いたそのたやすさが先生を驚かせた」という文。

Lesson (20) 関係詞の構文(3)

p.46

- 1 (1) where (2) why (3) on which
(4) to which (5) how

解説 (1)「彼女はその服を買った店に返しに行った」(2)「これが私とその計画をあきらめた理由です」。the reason why ... では the reason または why を省略できる。(3)「私は私たちが合唱コンクールで1等賞を取った日のことをはっきりと覚えている」。on the day → the day on which (4)「札幌は私たちが修学旅行で行った場所です」。we went to the place → the place to which we went (5)「私のボールの捕り方を見てください」

p.47

- 2 (1) 8月6日は歴史上初めて原子爆弾が落とされた日です。
(2) 彼は大都市で大金を稼ぎ、生まれ故郷の小さな町に帰って行った。
(3) この地域で昆虫の数が減少している理由はさまざまである。
(4) 私は彼女が私をいつも批評するやり方が嫌いだ。

- 3 (1) is a place where the warm sun shines
(2) change the way you think
(3) the day will come when there will be
(4) where they were staying for their
(5) reason why Ted should leave
(6) put it back where you found it

解説 (2) the way S + V (3) the day when ... will come とすると主語が長く文のバランスが悪いので、when 節をあとに置く。(6)「元の場所に」を「あなたがそれを見つけた場所に」と表す。where S + V の表現。where it was でも同じ意味を表せる。

- 4 (1) That is why I became[have become]
(2) The hotel where I am staying[stay]

Lesson (21) 関係詞の構文(4)

p.48

- 1 (1) この本を読みたい人ならだれにでも貸してあげよう。
(2) 車を運転できる人ならだれでもそのイベントに参加できます。

- (3) 衣服とそのほか旅行に必要なものは何でもかばんに詰めなさい。
(4) 私は故郷に帰ったときはいつも昔の先生[恩師]を訪ねる。
(5) 私がグリーンヒルでバスを降りると、そこで恋人のトムが私を待っていた。

- 2 (1) whenever, convenient
(2) whatever, them
(3) whichever cap[hat]

解説 (3)〈whichever + 名詞〉に注意。

p.49

- 3 (1) Whenever, where (2) which

解説 (1)「私は決断するのが難しい状況に陥ったときはいつでも、違った視点から見ようと努める」。a situation は抽象的な「場所」を表すと考えて where を用いる。(2)「京都の気候は、よく知られているように、冬と夏が厳しい」。is well known の主語なので、関係代名詞の which を用いる。関係副詞は主語になれない。

- 4 (1) whenever you want to use the computer
(2) where I used to play, is
(3) whichever books you need for your research
(4) breakfast, when there came the severest earthquake
(5) interested in foreign languages is welcome
(6) Whatever choice you make will have
(7) took a ferry to a small island, where my friend and I were the only

解説 (3)〈whichever + 名詞 + S + V〉の語順。

(4)〈there + V + S〉の語順に注意。(例) There appeared a strange-looking man. (奇妙な様子の男が現れた) (6)〈whatever + 名詞 + S + V〉の語順。

- 5 (1) wherever she goes

- (2) to whoever wants to listen to it

解説 (2) wants の主語なので主格の whoever を用いる。to のあとだからといって目的格の whomever とはならない。

Lesson (22) 仮定法の構文(1)

p.50

- 1 (1) もしあなたの性格をひとつ変えられるなら、あなたはどこを変えますか。
(2) 私たちは試合に負けたが、私たちの(チームの)選手の1人がけがをしていなかったならば、勝っていたかもしれない。

た。

- (3) 乗客がどうなったかということに関しては、まだ情報がない。
- (4) あなたは私たちがここで左に曲がるのか、次の角で曲がるのか、覚えていますか。
- (5) 医者は私がもう1週間入院することを勧めた。
- (6) 各鉄道会社は、乗客が電車に乗っている間、携帯電話で通話しないように要求している。

解説 (2) the theory that ... 「…という理論」
 (3) as to ～「～に関して」、what has become of ～「～はどうなったか」

4 suggested[proposed], be

- 5 (1) mind what job I should take
- (2) tell whether this flower is natural or
- (3) a great possibility that we will be able to live on other planets
- (4) The trouble is that he thinks only of himself.
- (5) wonder if you have change for a 1000 yen

解説 (1) make up one's mind 「決心する」 (5) この change は「小銭」の意味の不可算名詞。

Lesson 25 副詞節の構文(1)一時①

p.56

- 1 (1) 彼女がジョンと結婚して20年になる。
- (2) この特別な英語教育プログラムが始められてから3年が過ぎた。
- (3) 日本が高齢者社会になるのも遠くはないだろう。
- (4) 私は昨日になって初めてその知らせを受けた。
- (5) 私がこのアパートに越してきてから、来週でまる1年になる。
- (6) 私たちがそのトラブルの最初の報告を受けたのは午後もしばらくたってからだった。

p.57

- 2 (1) ② (2) ② (3) ④
- 解説** (1) some = about 「約、およそ」。「彼女がカリフォルニアに移ってから約20年になる」 (2) 「彼が自分の最初の本を出版できるのはかなり先のことだろう」 (3) 「あなたがあの会社を辞めてからどのくらいになりますか」
- 3 (1) have passed / It is[It's been], died
- (2) until, came
- 解説** (2) 「パーティーが終わりかけたところにやっと彼女が来た」
- 4 (1) long before Alice recovers from her illness

(2) two years since my father

解説 (1) recover from ～ 「～から回復する」。
 before 節では未来のことを現在形で表すことに注意する。 (2) It's = It has

- 5 (1) will not be long before we know the truth
- (2) was not until I visited him that I realized
- (3) How long is it since you bought this car ?
- (4) not until I came to Japan that
- (5) It won't be long before she can

解説 (3) <It is + 期間 + since ...>の期間を尋ねる文。

Lesson 26 副詞節の構文(2)一時②

p.58

- 1 (1) 演奏が始まったとたん照明が消えた。
- (2) 信号が青になったとたん、車は発進した。
- (3) 私が私の車のエンジンをかけようとするたびに、この変な音がする。
- (4) 彼がドアを開けたとたん、ネコが入ってきて彼にとびかかった。

p.59

- (5) この学生会館は、テーブルを片づければ200人もの人を収容できる。
- (6) 開店するとすぐに、買い物客たちは値引きの商品をなくなる前に手にしようと店に駆け込んだ。
- 解説** (1) get under way 「〔計画・作業などが〕始まる」
- 2 (1) イ (2) エ (3) ア (4) オ
- 解説** (1) 「いったん決心したら、最善を尽くすべきだ」 (2) 「試合が始まったとたん、雨が降り始めた」 (3) 「その店に行くたびに、私は彼にひょっこり会う」 run into ～ 「～と出くわす」 (4) 「寝そべったとたん、白い綿のような雲が空に浮かんでいるのが見えた」
- 3 (1) you get into a bad habit, you can't get out of it
- (2) sooner finished washing the dishes than
- (3) had the movie started before the audience
- (4) with the engine the moment I started the car
- (5) sooner had I finished eating than the party was
- (6) Every time I went to see her

解説 (1) get into ～ 「～に陥る」、get out of ～ 「(習慣など)をやめる」 (4) something is wrong with ～ 「～の調子が悪い」

p.64

- 1 (1) だれが私に同意しなくても、私は自分がしたいことをするつもりだ。
 (2) どんなに忙しくても、少なくとも6時間は必ず寝なさい。
 (3) 彼女は疲れはてていたけれども、その仕事を終わらせるために一晩中起きていた。
 (4) 暗かったけれども、一行はなんとか小屋への道を見つけた。
 (5) 何度やってみても、あなたのチームは私たちのチームを負かすことはできないでしょう。
 (6) 私たちの担任の先生は、おもしろかろうがおもしろくなかろうが、ジョークを言うのが好きだ。
 (7) 母国語であろうが外国語であろうが、簡潔な文体で書くのは難しい。

解説 (2) fail to ~で「～しそこなう」、never fail to ~で「必ず～する」。at least「少なくとも」(3) stay up「寝ないで起きている」(4) manage to ~「なんとか～する」

p.65

- 2 (1) no matter (2) Though[Although]
解説 (1)「何が起ころうとも、ここを動いてはいけない」(2)「ジャックは若いけれども、指導者として尊敬されている」
- 3 (1) ③ (2) ④ (3) ③
解説 (1)「いつ行っても、あの小さな店は混んでいる」(2)〈however + 形容詞〉の形。「どんなに気をつけても、事故は起こるものです」。この will は「～するものだ」と習性を表す。(3)〈形容詞 + as + S + V〉の形。「彼女は優しく見えただけども、彼女のどこかに強さがあるにちがいない」
- 4 (1) however fast (2) Poor, was
- 5 (1) Whether we win or lose
 (2) No matter how old he gets
 (3) Wherever people live and whatever they look like
 (4) you at the station no matter what time
 (5) No matter how rich a man may be

p.66

- 1 (1) 緊急の治療を必要とするのでなければ、119番に電話しないように。

- (2) あなたは間食をやめない限り、体重は減りませんよ。
 (3) 私は働ける限りこの会社に働くつもりです。
 (4) 私たちは待つ必要はありません。私の知る限り、彼は今日は来ませんから。
 (5) あなたは時間内に戻ってくるのであれば、どこでも好きなところへ行つてかまいません。
 (6) この件に関する限り、私にはまったく責任がありません。
 (7) このボタンを押しさえすれば、ドアは自動的に開きます。

解説 (6) as[so] far as ~ is concerned「～に関する限り」は決まった表現として覚える。(7) You have only to ~が命令文の代わりに条件を表す。by oneself「ひとりでに」

p.67

- 2 (1) ③ (2) ② (3) ① (4) ④

解説 (1)「試合を楽しむのであるなら、勝つか負けるかはあまり重要ではない」(2)「私は卒業したらすぐに就職するつもりです」(3)「まず調査をしないと報告書は書けない」(4)「彼女が見渡す限り、すべてのものが雪でおおわれていた」

- 3 (1) or (2) and (3) and (4) or

解説 (1)「私たちはすぐに出発すべきだ、さもないと飛行機に乗り遅れるだろう」(2)「まっすぐ10分ほど進みなさい、そうすれば右側に高い赤色のビルが見えるでしょう」(3)「あと10分早ければ、私たちは最終のバスに乗れたのに」(4)「真実を話しなさい、さもないと罰せられますよ」

- 4 (1) unless (2) long (3) If

(4) unless

解説 (1)「必要がなければ監督に話しかけてはいけません」(2) on condition that ...「…という条件で」。「3か月以内に返してくれるということなら、そのお金を貸してあげよう」(3)「一生懸命に勉強しなさい、そうすれば成績は徐々に上がるでしょう」→「もし一生懸命に勉強すれば…」(4)「もっと気をつけなさい、そうでないとけがをするかもしれません」→「もっと気をつけなければ…」

- 5 (1) As far as math is concerned

(2) Any book will do as long

(3) won't go out unless it stops

(4) start before five or we won't finish in time

解説 (2) do「用が足りる」。(例) Either will do。(どちらでもけっこうです) (4) mustの文が命令文の代わりにしている。

Lesson 1 主語の決定

p.77

- 1 (1) We[You] should be kind (2) It has been raining (3) It seems[appears] that
 (4) This medicine will make you (5) says that we will
 (6) No animal is more dangerous

解説 (1) 主語は「一般の人々」。(3) 「どうやら…らしい」は It seems[appears] that ... で表す。
 (4) 「この薬があなたをすぐに気分よくさせるだろう」と表す。(5) 「新聞は…と言っている」と表す。「大雪だろう」は「私たち(自分を含む一般の人)は大雪を持つだろう」と表す。(6) 否定語(no + 名詞)を主語にした比較級の文で表す。

- 2 (1) We[People] are getting older day by day.
 (2) They speak English and French in Canada.
 (3) It is important (for you[us]) to practice English every day.
 《別解》 It is important that you[we] (should) practice English every day.
 (4) It happened that I met[saw] an old friend (of mine) in the library the other day.
 《別解》 I happened to meet[see] an old friend (of mine) in the library the other day.
 (5) The weather forecast says that it will snow tonight[this evening].
 《別解》 According to the weather forecast, it is likely to snow tonight[this evening].
 (6) Nobody[No one] denies that love is the most important (thing) in the world.

《別解》 There is nobody [no one] who denies that love is the most important in the world.
 解説 (1) 「人」は(自分も含めた)一般の人である。Peopleを主語にしてもよい。(2) 「カナダでは」のように場所が限定されている場合、theyが「一般の人」を表すのに用いられる。(3) 形式主語のItを用いる。to不定詞、that節のいずれでも表すことができる。(4) 「たまたま…である」はIt happens that ...のほか、S happen to不定詞…で表すこともできる。(5) 「天気予報は…と言っている」という文にする。according to ~ 「~によれば」を用いて表すこともできる。

- 3 What happens if you heat ice? It is easy even for a child to answer this question. [Even a child can answer it easily.] It seems that no other question is so easy as this (one).

解説 「温める」のはだれでもよい「一般の人」と考える。

Lesson 2 時制の決定

p.79

- 1 (1) will be able to arrive[get/reach] there
 (2) have been good[close] friends since we were
 (3) By[In] April next year Mary will have worked
 (4) I had met[seen] the man somewhere before
 (5) (that) he has never broken his promise
 (6) they had been looking for for a long time

解説 (2) 現在完了で表す。「小学校から」はsince elementary schoolでもよい。sinceのあとには名詞句だけでなく、節を続けることもできる。(4) 「会った」のは「気がした」(過去)よりも

Lesson 4 文型(2)

p.83

- 1 (1) will[would] you (please) pass me the salt[the salt to me]
 (2) She sang us some English songs[some English songs for us]
 (3) Nobody[No one] told us the way[how to get] (4) He told me where he
 (5) you going to name the cat (6) leave the water running

解説 (1) 「AにBを取ってあげる」は pass *A B* / pass *B to A* で表す。(2) 「Aに歌を歌ってあげる」は sing *A a song* / sing a song for *A* で表す。(3)(4) 「AにBを教える」は tell *A B* / tell *B to A* で表す。「道などを教える」場合には teach は用いない。(5) 「AをBと名づける」は name *A B* で表す。ここでは *B* は What である。

- 2 (1) May I ask you some questions? / 《別解》 Do[Would] you mind my[me] asking you some questions? / Do you mind if I ask you some questions?
 (2) He told her when to leave for Italy [when she should leave for Italy].
 (3) I asked her what kind of music she liked.
 (4) Let's elect[select] her chairperson of this meeting.
 (5) My (big) brother was painting the dog house light blue.
 (6) When I heard my name called from behind, I turned back quickly.

解説 (1)(3) 「AにBをたずねる」は ask *A B* で表す。(2) 「いつ～すればよいか」は when to ～でも <when *S* should ～> でも表すことができる。(4) 「AをBに選ぶ」は elect[select] *A B*。投票で選ぶとき elect を用いる。(6) 「Oが～されるのを聞く」は <hear + O + 過去分詞> で表す。

- 3 She made us a lot of sandwiches[many sandwiches for us] / us very happy

解説 「A(のため)にBを作る」は make *A B* / make *B for A* で表す。and 以下は that を主語にして <*S* + *V* + *O* + *C*> の文型で表す。

Lesson 5 受け身

p.85

- 1 (1) was given a book by (2) were told to get together at the station
 (3) is this flower called (4) is said to be rich[wealthy]
 (5) is said that she was[used to be] (6) had my bicycle[bike] stolen

解説 (1) <give *A B*> を受動態にする。<*A be given B*> (2) 「Aに～するように言う」= <tell *A to* ～> を受動態にする。<*A be told to* ～> (3) <call *A B*> を受動態にする。<*A be called B*>
 (4) 「Aは～だと言われている」は <*A be said to* 不定詞> で表す。(5) 「…だと言われている」は It is said that の形でも表すことができる。(6) <have + O + 過去分詞> で表す。× I was stolen my bicycle.

- 2 (1) What were you told to do here?
 (2) Some more rooms will be made[built] in that building.
 (3) When I got[reached/arrived] there, an event was being performed.
 (4) If you walk barefoot, you may get bitten by a snake.
 (5) The boy fell from the tree, and (he) got[had] his arm(s) broken.
 (6) Yukari was surprised to find that he was interested in her.

解説 (2) 「～されるだろう」は未来形の受動態<will be + 過去分詞>を用いる。(3) 「～されている最中だった」は過去進行形の受動態<was being + 過去分詞>を用いる。(4) 「～される」という被害を表すには<get + 過去分詞>を用いるのが普通。(5) <have[get] + ○ + 過去分詞>で表す。(6) 「～して驚く」は be surprised to ～で表す。

3 This story is said to have been made about five hundred years ago, and (it) has been handed down from generation to generation.

解説 「500年ほど前に作られたと言われている」は時制が異なるので, is said to have been made と, <現在時制 + 完了不定詞>で表す。「世代から世代へと」は from generation to generation という決まった表現がある。

Lesson 6 知覚・使役

p.87

- 1** (1) I felt the house tremble[quake/shake] (2) her singing, saw her coming
(3) our father made us clean the garden
(4) have them carry[get them to carry] these heavy boxes
(5) is having[getting] her hair set (6) you make yourself understood in

解説 (1) 「○が～するのを感じる」は<feel + ○ + 原形不定詞>で表す。(2) 「彼女の歌声が聞こえた」は「彼女が歌っているのを聞いた」と考える。(3) 「○に(無理に)～させる」は<make + ○ + 原形不定詞>で表す。(4) 「○に～してもらう」は<have + ○ + 原形不定詞>または<get + ○ + to 不定詞>で表す。(5) 「髪をセットしてもらう」は have[get] one's hair set. set は過去分詞。(6) 「～語で話が通じる」は (can) make oneself understood in ～で表す。

- 2** (1) When I saw her appear on the stage, I felt my heart beating wildly.
(2) I have never seen him treated like a child.
(3) What has made you call me so late at night?
(4) I want[would like] to have him check this English composition.

《別解》 I want[would like] to have this English composition checked by him.

- (5) She asked her mother to let her use her computer (in order) to write a report.

《別解》 She asked her mother to allow her to use her computer (so as) to write a report.

- (6) It is difficult to make yourself heard in a subway train.

解説 (1) <知覚動詞 + ○ + 原形不定詞 [現在分詞]>で表す。(2) <知覚動詞 + ○ + 過去分詞>で表す。(3) 「何があなたに～させたのか」という無生物主語の構文を用いる。<make + ○ + 原形不定詞>を用いる。(4) 「○に～してもらう」は<have + ○ + 原形不定詞>で表す。この文は I want[would like] him to check ～. と表すこともできる。(Lesson 17[1]を参照) (5) 「○に(希望通り)～させる」は<let + ○ + 原形不定詞>または、<allow + ○ + to 不定詞>で表す。(6) 「自分の声を聞いてもらう」は make oneself heard という決まった表現がある。

3 I had some of my friends write their opinions about[on] my plan. After reading their opinions, I was made to think my plan[it] over again. / 《別解》 I got some of my friends to write their remarks about[on] my project. Their opinions made me rethink it[my project].

解説 最初の文は<have + ○ + 原形不定詞>または<get + ○ + to 不定詞>で表す。「～を再考させられる」= be made to think ～ over again / be made to rethink ～

language.

解説 後半の部分は it is hard[difficult] (for us) to learn a foreign language. を基本として考える
とよい。

Lesson 9 形容詞句・関係詞節(1)

p.93

- 1** (1) The test[examination] on Tuesday will surely (2) something cold to drink
(3) (who are) sitting under the tree are (4) a letter (that[which] was) written in
(5) who has lived in China for (many) years
(6) the report (that[which]) he wrote last week

解説 (3)(4) 〈関係代名詞 + be 動詞〉を省略することができる。(6) 関係代名詞の目的格は省略
できる。

- 2** (1) We would often go to the park near[by] the lake.
(2) Who was the first Japanese to cross the Pacific Ocean by yacht ?
(3) The woman (who is) talking with[to] our teacher is Jane's mother.
(4) The languages (that[which] are) spoken in Canada are English and French.
(5) The boy (whom[that]) I met in the library yesterday was Tom's (little/younger) brother.
(6) These are (the) pictures (that[which]) my uncle took abroad[in foreign countries].
《別解》 These are (the) pictures (that[which] were) taken by my uncle abroad[in foreign
countries].

解説 (1) 「よく～したものだ」 = would often ～ (4) 「言語」はここでは複数形。

- 3** The woman (who is) standing by[near] the window is the one (whom[that]) I met[saw] at
the party (that[which] was) held at Bob's house the other night.

Lesson 10 関係詞節(2)

p.95

- 1** (1) who is now in England[Britain] (2) whose father is a professor
(3) which cannot be true (4) a season when the sky looks (5) This is a place where
(6) He told us the reason why

解説 (2) 「(彼の)お父さんが大学の教授」と考えて、whose father is ～とする。(3) which が
前の文の内容を先行詞とする。(6) the reason か why のどちらか一方を省略できる。

- 2** (1) Tom lent me some[several] CDs, which were very good.
(2) Ms. Green, who came to Japan three years ago, speaks[can speak] Japanese very well.
(3) We visited a (certain) town, which was famous for its beautiful park.
(4) Do you remember the coffee shop where[in which] we first met ?
(5) The day will come soon[soon come] when your dream(s) will come true.
(6) This is how[the way] I made this doll.

解説 (3) 「そこは」とあるが、was の主語が必要なので、where ではなくて which を用いる。

(5) 「…する日」は the day when ... だが、ここでは主語が長くなるため、動詞の部分が先になっ
ている。

3 The man, who was very old, had to leave the village where he had lived for many years.

解説 「とても歳を取っていたが」は補足説明なので、関係代名詞の非制限用法で表すとよい。「長年住んでいた」は過去完了を用いるのが適切である。

Lesson 11 名詞句

p.97

- 1 (1) would like to visit (2) you have to do is (to) practice
(3) to sing (songs) in English (4) interested in growing flowers
(5) How to live every day (6) arriving at the airport

解説 (1) 「～したいと思います」は丁寧な表現なので、want to ～よりも would like to ～のほうが適切である。(2) 「～しさえすればよい」は All you have to do is (to) ～. という決まった表現がある。(4) 動名詞は前置詞の目的語になることができる。(6) 「～するとすぐに」は on ～ing で表すことができる。

- 2 (1) I do not like to be[being] treated like a child.
(2) She likes playing the piano, but she does not want to play it now.
(3) This computer needs[wants] repairing.
《別解》 This computer needs to be repaired. / It is necessary to repair this computer. / I[You] need to have this computer repaired.
(4) Instead of watching TV, you should finish your homework quickly.
《別解》 Finish your homework at once, instead of watching TV.
(5) (Please) Tell me which way to take.
《別解》 Would you mind telling me which way to take ?
(6) She did not know whether to laugh or to cry.

解説 (1) 「子供扱いされること」は受動態の to 不定詞または動名詞で表す。(2) 普段の好き・嫌いを言うときには動名詞を用いるのが一般的。その場の気持ちを述べるときには to 不定詞を用いる。(3) 「S は～する必要がある」が「S は～される必要がある」という受け身の意味を表すときには、S needs[wants] ～ing で表すことができる。(4) 「～しないで」が「～する代わりに」の意味のときは instead of ～ing を用いる。(5) 道を「教える」場合には、teach ではなくて、tell を用いる。(6) 「～すべきか…すべきか」は whether to ～ or to ... で表す。

- 3 “May I borrow the magazine if you have finished reading it?” “I’m sorry, but I would like to read it for a little while.”

解説 「～したいのですが」は丁寧な気持ちが含まれているので、would like to ～を用いる。

Lesson 12 名詞節

p.99

- 1 (1) he would be[become] a scientist (2) us that she had lived
(3) is that you have to[must] finish[complete] this work
(4) surprising[a surprise] that they lost the game
(5) asked me who would come (6) What I (have) wanted to read is

解説 (1) 時制の一致で would を用いる。(2) 「○に…であると言う」=〈tell + ○ + that …〉。「住

Lesson 14 副詞句・節(2)

p.103

- 1 (1) sad to hear the news (2) because of[owing to] the heavy snow
 (3) put off because[since/as] it was getting dark (4) deep, to swim in
 (5) She spoke so fast (6) The box was too heavy, to carry

解説 (1) to hear the news = when they heard the news (2) 「～のために」は原因・理由を表すので, because of ~ / owing to ~を用いることができる。ほかに on account of ~ / thanks to ~も原因・理由を表す場合に用いられる。(3) 原因・理由の接続詞 because[since/as] を使う。この順番に意味が弱くなる。(4) to swim in と最後に前置詞を加えるのを忘れないこと。(5)(6) 「とても…なので～できない」は too ... to ~ / so ... that S can't ~で表すことができる。(5)は後ろに節が続いているので後者を用いる。(6)は for me があるので<too ... for - to ~>の構文を用いる。

- 2 (1) He must be crazy to think that he is the greatest (of all).
 (2) Because of his terrible words, she got[became] angry[mad].
 (3) Since I was the last person to leave the room, I had to turn[switch] off all the lights.
 《別解》 Since I left the room last, I had to turn[switch] off all the lights.
 (4) There were enough chairs to go around in the room.
 《別解》 There were enough chairs for everyone to sit on in the room.
 (5) It was so cold yesterday that nobody[no one] wanted to go out.
 (6) It was such a wonderful experience that I could[would] never forget it.

解説 (1) 判断の理由・根拠を表す to 不定詞で表すことができる。(3) 「最後に～した」は be the last person to ~の表現で表すことができる。(4) go around は「みんなにいきわたる」の意味。enough はここでは名詞を修飾しているので, 名詞の前に置く。(6) 「…するほどの～」は<such ~ that ...>で表すことができる。

- 3 I am surprised to hear that the doctor has so many patients that he is always busy.
 《別解》 I am surprised to hear that the doctor is always busy because he has a lot of patients.

解説 「～して驚く」は be surprised to ~。「とても～なので…」は<so ~ that ...>で表すことができるが, 別解のように, because で理由を説明してもよい。

Lesson 15 副詞句・節(3)

p.105

- 1 (1) it rains tomorrow, will be postponed[put off] (2) long as you keep[are] quiet
 (3) Unless, cannot[will not be able to] understand what he says
 (4) If you were me[in my place] (5) wish I were a little younger
 (6) had been here, could have heard your song(s)

解説 (1) 「もし明日雨が降れば」は単なる条件なので, 未来のことは現在時制(rains)で表す。「延期する」=postpone / put off. 未来の受動態にすることを忘れずに。(2) 「…である限り」は<as[so] long as ...>で表す。(4) 「もしあなたが私だったら」は現在の事実と反する仮定なので, 仮定法過去を用いる。(5) 現在の事実と反する願望を表すには, <I wish S + 仮定法過去>を用いる。(6) 過去の事実と反する仮定なので, 仮定法過去完了の文を作る。

- 2 (1) this work[job] immediately[at once], or you can't take a rest.

- (2) were not for the sun, no living thing could live.
 (3) I had studied English a little harder[more] in my high school days[when I was in high school].
 (4) her advice, we might have failed.
 (5) would not treat her child[children] that way.

解説 (1) 「～しなさい、さもないと…」と考えると、〈命令文, or …〉の形を用いる。(2) 「もし～がなかったら」(現在の事実と反する仮定)は **if it were not for** ～で表すことができる。(3) 過去の事実と反する願望なので、〈I wish S + 仮定法過去完了〉の文にする。(4) 「～かもしれない」は助動詞の **might** を用いる。(5) 主語の名詞が **if** 節の代わりをしている。日本文から現在の事実と反する仮定と判断できるので、仮定法過去の帰結節の形をとる。

- 3** I wish the invitation had arrived three days earlier. [I wish I had received the invitation three days earlier.] Then, I could have gone to the party.

解説 どちらの文も過去の事実と反する仮定なので、仮定法過去完了で表す。最初の文は〈I wish S had + 過去分詞〉を用いる。あとの文は **if** 節に相当する部分は **Then** 「そうすれば」の中に含まれていると考えられるので、帰結節の形(助動詞の過去形 + **have** + 過去分詞)にする。

Lesson 16 副詞句・節(4)

p.107

- 1** (1) Though[Although] they live in a small house (2) though it is not high
 (3) in spite of[despite] the heavy snow (4) Even if she cannot come
 (5) no matter who says[may say] so
 (6) No matter how hard I (may) try [However hard I (may) try]

解説 (1) **although** は **though** よりも強意的で、硬い感じがする。(3) 「～にもかかわらず」を句で表すには、**in spite of** ～ / **despite** ～を用いる。(4) 「たとえ…でも」と仮定の意味を含んだ譲歩を表す場合には、**even if ...** を用いる。(5) 「たとえだれが…でも」は **No matter who ...** で表すことができる。助動詞の **may** を用いることもある。(6) 「どんなに…でも」と様態についての譲歩を表す場合には、**no matter how ... / however ...** を用いる。**how(ever)** のあとに様態を表す形容詞や副詞がくる。

- 2** (1) the weather was not so[very] fine[good], the sport meet was a great success[very successful].
 (2) I advised him not to do so, he left the window(s) open.
 (3) if it is true, I do not want to accept it.
 (4) in spite of being rich[his wealth], he had a lot of trouble(s) [problems].
 (5) no matter which way you choose[take], you must do your best.
 (6) you (may) visit him, he will not see you.

解説 (2) 「○に～しないように忠告する」は〈advise + ○ + not to ～〉、「○を C(の状態)にしておく」は〈leave + ○ + C〉。

- 3** Whoever reads[may read] whatever book(s), we do not have the right to say anything about it. / 《別解》 No matter who reads[may read] whatever book(s), we have no right to say anything about it.

解説 「どんな本」は **read** の目的語なので **whatever book(s)** とする。本問のように、目的語にな

p.115

- 1 (1) No boy wanted to practice (2) is nothing (that is) more important than love
 (3) had (very) little time (4) read (very) few books last month
 (5) are not always[necessarily] happy (6) cannot quite[completely/entirely] understand

【解説】(5) 「いつも～とは限らない」は〈not + always[necessarily]〉で表す。The rich = Rich people なので、動詞は複数の主語に一致させて are を用いる。(6) 「完全に～というわけではない」は〈not + quite[completely/entirely]〉で表す。

- 2 (1) No (other) mountain in Japan is as[so] high as Mt. Fuji.

(2) I have nothing[no news] to tell you today.

《別解》 I do not have anything[any news] to tell you today.

(3) Nothing about the artist was known.

《別解》 Nothing was known about the artist.

(4) He had (very) little[almost no] interest in making friends.

(5) Not all young people know that famous song.

《別解》 Not every young person knows the famous song.

(6) She does not know both of my (little/younger) sisters.

【解説】(1) 「(他の)どんな A も B ほど～でない」を原級を用いて表すと、No (other) A is as[so] ~ as B. となる。(5) Not all ... または Not every ... で表す。every のあとには単数名詞がくるので、動詞の形に注意する。(6) 「～の両方とも…というわけではない」は〈not + both of ~〉で表す。

- 3 I found[could find] nothing to eat, and (very) little to drink left in the refrigerator. / 《別解》 I did[could] not find anything to eat, and there was little to drink left in the refrigerator.

1) 発展英作文

p.116

- ① These days more and more people have cell phones, and almost all young people seem to have one.

《別解》 Nowadays the number of people who carry mobile phones is increasing, and most young people seem to have one.

類題 These days more and more students are going abroad to study English. / 《別解》 Nowadays the number of students who go abroad to study English is increasing.

解説 more and more ～を用いて表すときは現在進行形になることが多い。

- ② Three full years have passed since I first met him, but I know only a part of his personality.

《別解》 It is[has been] three whole years since I first became acquainted with him, and yet I know very little about his personality.

p.117

類題 A year has passed since my niece started learning German. I think she will be able to read an easy novel in another six months. / 《別解》 It is[has been] one year since my niece began to study German, and she will be able to read a simple novel in another six months.

- ③ ① Everyone spends at least a third of their life sleeping. Therefore by the time you reach the age of seventy[are seventy years old], you will have slept for twenty years of your life.

② Generally speaking, the older you get[grow/become], the more difficult it is to sleep well [get enough sleep] at night.

類題 I think that the more curious you are and the more you enjoy your life, the more easily you can learn a language.

p.118

- ④ Our society is rapidly aging, and the number of younger workers is certainly decreasing.

《別解》 We live in a society in which the rapidly increasing number of people are getting older, but young workers are without a doubt decreasing in number.

解説 「私たちの社会が高齢化しつつある」は our society is aging と言えるが、これは「社会」を擬人化した慣用表現である。age = grow[get] old であるが、普通は「社会」のような無生物に後者は用いない。別解では、「急速に増えている数の人々が高齢化している社会に私たちは生きている」という英文になっている。「～する A が増える」は the increasing number of A ～で表すこともできる。

類題 The number of Japanese tourists to foreign countries has been amazingly increasing for the past several years. / 《別解》 Japanese people who travel overseas are surprisingly increasing in number these several years.

解説 「ここ数年間」とあるので、現在完了を用いるのが適切である。「海外観光者」とは「海外へ旅行する人」と考えて、tourists to foreign countries や people who travel overseas とすればよい。

- ⑤ In such a case, there is nothing for it but to wait until the reader himself or herself has become more mature. If you read the same book after some time has passed, you will find that it is more understandable and interesting than before[previously]. It seems that not a few

people have had this experience.

《別解》 If this is the case, the only thing for you to do is to wait till you are more mature. There are probably more than just a few people who have had the experience of reading a book at a later date and finding it, for the first time, understandable and interesting.

【解説】 the reader は男も女もいるので、代名詞は himself or herself とするのが、今では主流である。「以前よりもっと～である」は〈比較級 + than before[previously]〉で処理することができる。別解の for the first time は日本文には現れていないが、「初めて～、ようやく～」のニュアンスが込められている。

p.119

【類題】 When a person is traveling in a country whose language he or she is poor at, there is no other way for him or her than to order his or her meal by guessing. / 《別解》 When traveling in a country whose language you can hardly understand, you have no other way but order your meal by guess work.

【解説】 ここでも a person は he or she で受けるのがよい。「A には～するしか方法がない」は There is no other way for A than to ～. あるいは A have no other way but ～. という慣用表現がある。A have no choice but to ～. を用いて表してもよい。「言語が不得意である」は be poor at the language が使えるが、can hardly understand the language でも十分である。ここでの「想像する」は「推量する」の意味なので、imagine ではなくて guess のほうがよい。

- ⑥ There is nothing more beautiful and encouraging than an oasis (which[that]) you see after you have been wandering around in the desert lost.

《別解》 Nothing is as beautiful and encouraging as an oasis which[that] appears (before your eyes) after you have been walking around lost in the desert.

【解説】 最上級の内容は、比較級でも原級でも表すことができる。「現われるオアシス」は an oasis which[that] appears でも an oasis you see でもよい。「砂漠をさすらった後」は現在完了進行形が適切である。

【類題】 Nothing probably appeals to the tourist's eye so much as the Japanese scenery. / 《別解》 Nothing can probably attract the tourist's eye so much as the Japanese scenery.

【解説】 「旅人の目を楽しませる」とは「旅人の目に訴える」と考えて appeal to the tourist's eye とするか、「旅人の目を惹きつける」と考えて attract the tourist's eye とする。

p.120

- ⑦ I went to Arashiyama in Kyoto for the first time in ten years. Unfortunately it began to rain.

《別解》 We visited Arashiyama in Kyoto for the first time in ten years. Unluckily it started to rain.

【解説】 主語は I でよいが、家族で行ったと考えれば we も使える。

【類題】 A friend of mine is coming to see me for the first time in three years, so I have to be back by 4 p.m. / 《別解》 Because a friend of mine comes to visit me for the first time in three years, I'll have to go home before four o'clock in the afternoon.

【解説】 「会いに来るので」は近未来の予定なので、be coming to ～が適切だが、現在時制でも代用できる。

- ⑧ It is often said that if you want to be able to write good sentences, you should read as many good sentences as possible.

《別解》 It is often said that we should read as many good passages as we can if we are to be

no matter how monotonous[dull] scenery it is running through とする。つまり「場所」は訳出しなくてもよい。「～の中を走る」は run through ～。

【類題】 No matter how much knowledge a person has, he or she cannot be called a great person if he or she does not have a tender heart. / **【別解】** A person without a considerate heart cannot be said to be a great one no matter how much knowledge he or she has.

【解説】 「どんなに～でも」は no matter how ... の譲歩構文を使う。「人」は a person が適切で、代名詞で受けるときは、he or she とするのが最近の傾向である。「優しい感情を持っていない人」は最初の訳例のように、「もし優しい感情を持っていないなら」と if 節で処理してもよいし、別解の a person without a considerate heart のように簡潔に表すこともできる。

2) 条件英作文

p.132

- ① 1. I'm going to stay at your home for the last ten days in March, during my spring vacation.
 【別解】 I'm looking forward to staying with you during my spring break, for ten days in late March.
2. I'm not particular[fussy] about food, and I would like to try some typical American home cooking.
 【別解】 You don't need to worry about what to cook for me; I enjoy eating almost anything except for crab, which I am allergic to.
3. I hope that sometime during my stay I will be able to see the Statue of Liberty, as it is one of America's most famous landmarks.
 【別解】 During my stay in New York I would really like to see a Broadway musical because that is something (that) I can't experience in Japan.
4. By the way, I would like to know about the weather in New York towards the end of March.
 【別解】 I would appreciate it if you could tell me what kind of weather to expect on my trip.
5. That kind of information will help me (to) decide what kind of clothes I should bring along. If you have any advice about this, please let me know.
 【別解】 I need to know so that I can make sure I pack the right clothes.

【解説】 1. 「3月下旬」は for the last ten days in[of] March / for ten days in late March などが適切である。「春休み中の」は during my spring vacation[break] とする。for を使わないように注意する。「A のところに滞在する」は stay at A's home / stay with A で表す。

2. ここでは常識的なことを述べるほうが書きやすいだろう。「(食べ物などに)うるさい」は be particular[fussy] about ～と言う。eat almost anything except for ～は「～を除けばほとんど何でも食べる」の意味。アレルギーなどの症状が出る食べ物に対しては、be allergic to ～という表現を用いる。

3. 「自由の女神」= the Statue of Liberty とか「ブロードウェイ」= Broadway などの固有名詞は綴れるようにしておきたい。この種の設問では、英語以外の情報・知識も要求される。

4. 「私の滞在中はどのような天候か知りたいのですが」といった趣旨の文を書けばよい。I would appreciate it if 「…であればありがたいのですが」といった表現を知っておくとよい。

5. 「上の情報に基づいて、持っていく服装を決めたい」と理由を説明する。pack the right clothes 「適切な服装を荷造りする」は簡潔で要点を押さえた表現なので覚えておきたい。